



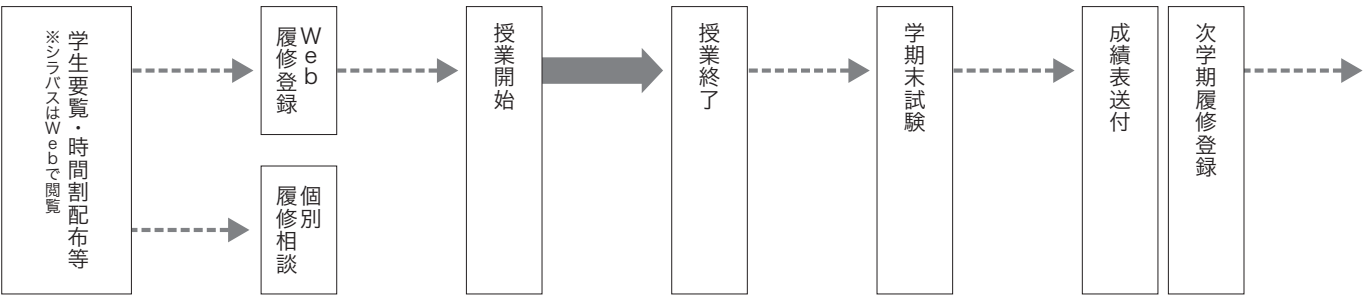
Chapter 2 教育

聖学院大学の学部教育の特色は、専門教育はもちろんのこと、どの学部学科に所属していても、各学部が提供する専門基礎科目を広く学んでいくことができますので、専門性と幅広い教養を身につけることができるということです。

1年次には専任教員1人に対して10～13人の学生でアドバイザークラスが構成され、授業の履修の仕方や大学生活について助言を受けることができます。また学科の規模はほどよい大きさで、授業も8割が50人以下のクラスですので、教員と学生、あるいは学生同士がフレンドリーな雰囲気の中で学んでいます。その良さは専門教育を行うゼミや演習、実習にも引き継がれ、さらに卒業した後も盛んに交流が行われていますが、これも聖学院大学の誇る特色の一つです。

履修について

大学生活の流れ



時間割

大学生になると、自分の履修科目を自ら計画し、時間割をつくることが出来ます。しかし、ただ好きなことや興味のあることだけを選択できるという訳ではありません。時間割を組む際には、いくつかの履修条件（ルール）があります。例えば、学科ごとに履修できる単位数の上限があり、それを超える履修はできません。また、科目によっては対象学年や履修順序が定められていることもあります。時間割を組む際は、これらのルールに注意して履修計画を立てなければなりません。なお、履修計画については個別相談も行っています。4年間の計画的な履修計画で充実した学生生活を送ることができるように万全のサポートを行っています。

時間割の組み方

①必修科目を入れる。

自分の学科・学年に該当する必修科目（卒業までに必ず単位修得しなければならない科目、表では◎で表示）の時間を確認します。その時間帯には他の科目を入れることはできません。

②選択科目を入れる。

必修科目に必要な時間以外の空き時間に選択科目（表では△で表示）を選択します。ここでは、他学科の授業を選択することも出来ますが、所属学科の専門科目の履修を優先させます。また、選択科目には、卒業に必要な選択必修科目（表では○で表示）もあるので注意が必要です。

単位

聖学院大学では大学設置基準に基づく単位制度を採用しています。「単位制」は、大学で開設されている授業から所定の科目を履修し、4年間の在学期間中に卒業に必要な単位を修得していく制度です。大学では主体的な学びのための学生の学修時間として、1単位は予習や復習などの自学を含めて45時間の学修を要する内容で構成することが標準とされています。本学ではラーニングコモンズ(P.54参照)を利用した、学生の主体的な学びをバックアップしています。本学を卒業するためには、基礎科目・教養科目・専門科目等から最低、計124単位を修得する必要があります。そのため、計画的に単位修得をしなければなりません。履修した科目の単位を修得するためには、最低でも3分の2以上の出席が必要条件となります。また、各科目ごとに課せられる試験を受験し、レポートをきちんと提出することも条件となっています。

履修登録

大学では、授業を履修するには、まずその科目を受講するための登録が必要です。各学期ごとに各自の履修計画に沿った科目を、指定された履修登録期間に登録します。聖学院大学の学生はWebを利用して登録を行っています。履修希望者の多い科目は人数制限を行う場合もあります。

セメスター制

聖学院大学では、1年を春学期（4～9月）と秋学期（10～3月）の2学期に分けて授業を行うセメスター制度を導入しています。各学期にそれぞれ履修登録・授業・試験・成績発表があります。

セメスター制では、1科目の授業が週2回行われることになります。そのため学生の1週間における学習科目数が減るので、1科目のために、より多くの時間とエネルギーを注ぐことができるようになり、学習効果が向上します。また、履修登録も1年に2回行うことになるので、柔軟性のある履修が可能になります。

さらに、海外の大学の授業周期と似た形態をとることになるので、留学などを考える学生にとっては留学先の事情に対応しやすいといった効果があげられます。

授業・試験・成績について

月・土曜日（土曜は2限まで）		火～金曜日	
1限	9:00～10:30	1限	9:00～10:30
2限	10:40～12:10	2限	10:40～12:10
3限	13:00～14:30	3限	13:00～14:30
4限	14:40～16:10	全校礼拝	14:40～15:10
5限	16:20～17:50	4限	15:20～16:50
		5限	17:00～18:30

2014年4月より時間割が右のように変更となりました。通常月曜から金曜は5限まで、土曜日は2限までの授業を各90分間で行います。火～金曜日は、全校礼拝が3限と4限の間に30分間あるため、月・土曜日の授業時間帯とは異なります。

試験は基本的に春学期・秋学期の学期末ごとに実施します。試験には教室で行われる「教場試験」の他にレポートの提出を試験に代える科目もあります。成績発表は年2回、学期ごとに成績通知表が学生に送付され、成績によっては不合格となり単位の修得ができない場合もあります。そのため、聖学院大学では学業結果を総合的に判断する成績評価制度を採用し、公平な成績評価を実施しています。

基礎科目

大学教育を受けるための基礎を養うとともに、
聖学院大学の理念の理解および実現への姿勢を整える科目群です。

基礎科目群は、基礎科目、英語科目、第二外国語科目、スポーツ科目、キリスト教関連科目その他からなっています。

主な担当教員専門分野 ※ラーニングセンターの教員はP.54参照



特任講師
L. アーノルド
第二言語習得、
学習ディベロップメント



教授(政治経済学科兼務)
阿久戸 光晴
キリスト教社会倫理学、
日本国憲法



特任講師
岡村 佳代
第二言語としての
日本語教育



教授(政治経済学科兼務)
小川 洋
教育社会学、教育行政学、
カナダ教育



特任講師
酒井 俊行
インターンシップ論、中小企
業金融論、起業論、経営論



特任講師
島田 洋子
第二言語習得



准教授
鄭 鎬碩
社会情報学



特任講師
棚橋 明美
第二言語としての
日本語教育



特任講師
チェンバレン 暁子
第二言語習得・マルチメ
ディアを用いた英語教育



特任講師
中川 英幸
第二言語習得、
外国語としての英語教育



特任講師
メイス みよ子
第二言語習得



嘱託研究員
村瀬 天出夫
ドイツ史、科学思想史



嘱託研究員
吉澤 剛士
健康情報科学

開設科目

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択	科目名	担当教員	必修/選択	科目名	担当教員	必修/選択
基礎科目			英語科目			英語科目		
キリスト教概論A	菊地 順/阿部 洋治 /E.D.オズバーン/ 石田 学/山ノ下 恭 二/久保島 理恵/ 田中 かおる/柳田 洋夫/野島 邦夫/ 吉岡 光人/山口 博 /東野 尚志	◎	ITパスポート講座	竹井 潔	△	ECA(Reading) I (ALL:Level b)		◎
			ECA(英語基礎表現) I (All)		◎	ECA(Reading) I (Level a)	チェンバレン 暁子/ 中川 英幸/ メイス みよ子	◎
			ECA(英語基礎表現) I (Level a)	チェンバレン 暁子/ 島田 洋子/ 中川 英幸/ K.J.マクレン	◎	ECA(Reading) I (Level b)	チェンバレン 暁子/ 遠藤 由佳里/ 中川 英幸	◎
			ECA(英語基礎表現) I (Level b)	島田 洋子	◎	ECA(Reading) I (Level c)	遠藤 由佳里/ 島田 洋子/ メイス みよ子	◎
キリスト教概論B	菊地 順/阿部 洋治 /E.D.オズバーン/ 石田 学/山ノ下 恭 二/久保島 理恵/ 田中 かおる/柳田 洋夫/野島 邦夫/ 吉岡 光人/山口 博 /東野 尚志	◎	ECA(英語基礎表現) I (Level c)	メイス みよ子/ 島田 洋子	◎	ECA(Reading) I (Level d)	チェンバレン 暁子/ メイス みよ子	◎
			ECA(英語基礎表現) I (Level d)	メイス みよ子	◎	ECA(Reading) I (Level Super a)	メイス みよ子	◎
			ECA(英語基礎表現) I (Level Super a)	L.アーノルド	◎	ECA(Reading) II (All)	遠藤 由佳里/ 中川 英幸	◎
			ECA(英語基礎表現) II (All)	能町 和子	◎	ECA(Reading) II (Level a)	チェンバレン 暁子/ 中川 英幸	◎
基礎教育入門 (書き方)	中島 佐和子/ 新井 尚子/ 太田 ミユキ/ 上嶋 康道/ 副田 恵	◎	ECA(英語基礎表現) II (Level a)	チェンバレン 暁子/ 遠藤 由佳里	◎	ECA(Reading) II (Level b)	チェンバレン 暁子/ 遠藤 由佳里	◎
基礎教育入門 (話し方)	幸田 儋朗/ 風見 雅章	◎	ECA(英語基礎表現) II (Level b)	島田 洋子/ 中川 英幸	◎	ECA(Reading) II (Level c)	島田 洋子	◎
情報基礎	国分 道雄/ 鈴木 省吾/ 二神 常爾	◎	ECA(英語基礎表現) II (Level c)	島田 洋子	◎	ECA(Reading) II (Level d)	チェンバレン 暁子	◎
情報リテラシー		◎	ECA(英語基礎表現) II (Level d)	チェンバレン 暁子	◎	ECA(Reading) II (Level Super a)	メイス みよ子	◎
書き方表現応用講座	船山 久美 他	△	ECA(英語基礎表現) II (Level Super a)	L.アーノルド	◎	ECA(Speaking) I (All)	島田 洋子	△
話し方表現応用講座	川野 一宇	△	ECA(Reading) I (ALL:Level a)	能町 和子	◎			
話し方表現実践演習	幸田 儋朗	△						

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。留学生用の科目は含みません。
※学科によって必修、選択必修、選択科目が異なる場合があります。

科目名	担当教員	必修/選択
ECA(Speaking) I (Level a)	チェンバレン 暁子／ メイス みよ子	△
ECA(Speaking) I (Level b)	L.アーノルド／ チェンバレン 暁子／ G.M.レガラ	△
ECA(Speaking) I (Level c)	島田 洋子／ 中川 英幸／ K.J.マクレン	△
ECA(Speaking) I (Level d)	メイス みよ子	△
ECA(Speaking) II (All)	K.J.マクレン	△
ECA(Speaking) II (Level b)	チェンバレン 暁子	△
ECA(Speaking) II (Level Super a)	M.サベット	△
ECA(Cinema) I	島田 洋子／ 中川 英幸／ メイス みよ子	△
ECA(Cinema) I (All)	チェンバレン 暁子／ 森 容子	△
ECA(Cinema) II (All)	遠藤 由佳里／ チェンバレン 暁子／ 能町 和子／ 森 容子	△
ECA(Culture) A	L.アーノルド／ K.J.マクレン	△
ECA(Culture) B	L.アーノルド	△
ECA(Test English) A (ALL:Level b)	島田 洋子	△
ECA(Test English) B (ALL:Level a)	能町 和子／メイス みよ子	△
ECA(Test English) B (ALL:Level b)	中川 英幸	△
ECA(Test English) B (Level a)	メイス みよ子	△
ECA(Test English) B (Level b)	遠藤 由佳里	△
ECA(Test English) B (Level c)	中川 英幸	△
ECA(English Through Songs) A	遠藤 由佳里／ K.J.マクレン	△
ECA(English Through Songs) B	L.アーノルド／ 能町 和子／ K.J.マクレン	△
ECA (Pleasure Reading) A	島田 洋子	△
ECA (Pleasure Reading) B	メイス みよ子	△
ECA (Business)	チェンバレン 暁子／ 中川 英幸	△
ECA(English for Omotenashi)	遠藤 由佳里	△
ECA (Travel English)	L.アーノルド／ G.M.レガラ	△
第二外国語 I		
ドイツ語 I (初級 A)	小谷 哲夫／ 清水 威能子／ 宮崎 泰行	○
ドイツ語 II (初級 B)	小谷 哲夫／ 宮崎 泰行	○
フランス語 I (初級 A)	石田 明夫／ 小室 康太／ 塩谷 祐人	○
フランス語 II (初級 B)	石田 明夫／ 小室 康太	○
スペイン語 I (初級 A)	越智 直子／ 宮内 ふじ乃	○
スペイン語 II (初級 B)	越智 直子	○
イタリア語 I (初級 A)	高津 美和	○
イタリア語 II (初級 B)	高津 美和	○

科目名	担当教員	必修/選択
中国語 I (初級 A)	閻 子謙／ 新田 小雨子／ 福田 素子	○
中国語 II (初級 B)	閻 子謙／ 新田 小雨子	○
韓国語 I (初級 A)	金 娜玄／ 溝口 カブスン	○
韓国語 II (初級 B)	溝口 カブスン	○
スポーツ科目		
健康・体力づくり実習 A (サッカー)	檜山 康	△
健康・体力づくり実習 A (ソフトボール)	神田 良太郎	△
健康・体力づくり実習 A (テニス)	太田 涼	△
健康・体力づくり実習 A (ニュースポーツ)	神田 良太郎	△
健康・体力づくり実習 A (バスケットボール)	太田 涼	△
健康・体力づくり実習 A (バトミントン)	関 一誠	△
健康・体力づくり実習 A (バレーボール)	鈴木 由美	△
健康・体力づくり実習 B (サッカー)	檜山 康	△
健康・体力づくり実習 B (テニス)	太田 涼	△
健康・体力づくり実習 B (ニュースポーツ)	神田 良太郎	△
健康・体力づくり実習 B (バスケットボール)	太田 涼	△
健康・体力づくり実習 B (バトミントン)	関 一誠	△
健康・体力づくり実習 B (バレーボール)	鈴木 由美	△
健康・体力づくり実習 B (ボウリング)	鈴木 直樹	△
生涯スポーツ実習 A (ゴルフ)	和田 雅史	△
生涯スポーツ実習 A (サッカー)	檜山 康	△
生涯スポーツ実習 A (テニス)	太田 涼	△
生涯スポーツ実習 A (バトミントン)	関 一誠	△
生涯スポーツ実習 A (バレーボール)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 A (フィットネスエクササイズ)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 A (ボウリング)	鈴木 直樹	△
生涯スポーツ実習 B (サッカー)	檜山 康	△
生涯スポーツ実習 B (スキー)	和田 雅史	△
生涯スポーツ実習 B (テニス)	太田 涼	△
生涯スポーツ実習 B (バトミントン)	関 一誠	△
生涯スポーツ実習 B (バレーボール)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 B (フィットネスエクササイズ)	鈴木 由美	△
生涯スポーツ実習 B (ボウリング)	鈴木 直樹	△
キリスト教関連科目		
聖書の世界 A	野島 邦夫	○
聖書の世界 B	野島 邦夫	○
イングリッシュ・ バイブル B	E.D.オズバーン	○
キリスト教と歴史形成 A	石田 学	○
キリスト教と歴史形成 B	石田 学	○
キリスト教思想史 A	村瀬 天出夫	○

科目名	担当教員	必修/選択
キリスト教思想史 B	村瀬 天出夫	○
キリスト教と法	加藤 恵司	○
キリスト教と国際社会 B	早藤 昌浩	○
キリスト教と日本社会 A	柳田 洋夫	○
キリスト教と日本社会 B	柳田 洋夫	○
キリスト教と日本宗教	濱田 辰雄	○
キリスト教と日本思想	濱田 辰雄	○
キリスト教と アメリカ文化 A	森田 美千代	○
キリスト教と アメリカ文化 B	森田 美千代	○
キリスト教と アジア文化 B	松本 周	○
キリスト教と アジア文化 A	松本 周	○
キリスト教と自然科学 A	村瀬 天出夫	○
キリスト教と自然科学 B	村瀬 天出夫	○
キリスト教と音楽 A	渡辺 善忠	○
キリスト教と音楽 B	渡辺 善忠	○
キリスト教音楽史 A	渡辺 善忠	○
キリスト教音楽史 B	渡辺 善忠	○
キリスト教と美術 A	喜田 敬	○
キリスト教と美術 B	喜田 敬	○
キリスト教と 福祉活動の実際 A	吉岡 光人	○
キリスト教と 福祉活動の実際 B	吉岡 光人	○
キャリア教育科目		
時事問題演習	森脇 健介	△
図表理解 (A)	森脇 健介／ 山本 祥弘	△
図表理解 (B)	森脇 健介／ 山本 祥弘	△
図表理解 (C)	森脇 健介／ 山本 祥弘	△
キャリアデザイン A	上田 信一郎／ 萬年山 啓	△
キャリアデザイン B	上田 信一郎／ 萬年山 啓	△
業界・企業研究	酒井 俊行／ 吉成 篤	△
インターンシップ I (事前学習)	酒井 俊行／ 吉成 篤	△
インターンシップ II (実習)	酒井 俊行／ 吉成 篤	△
その他		
日本国憲法	石川 裕一郎／ 加藤 恵司／ 安原 陽平	△
Special Lecture Series		△
釜石学	渡辺 正人	△
被災地支援 ボランティア A		△
被災地支援 ボランティア B		△
被災地支援 ボランティア C		△
アメリカ文化演習 A	D.バーガー	△
アメリカ文化演習 B	D.バーガー	△
アメリカ文化演習 C	D.バーガー	△
オーストラリア文化演習	D.バーガー	△
カナダ文化演習	D.バーガー	△
海外文化演習		△

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。留学生用の科目は含みません。

※学科によって必修、選択必修、選択科目が異なる場合があります。

教養科目

教養科目の目的は、本学のめざす人間形成に向けて幅広く深い教養を学ぶことにあります。所属する学部以外の科目群から選択し履修します。

教養科目は、A群(政経)、B群(欧米・日文)、C群(児童・こども心理・人間福祉)、D群からなっています。

開設科目

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
A群		
政経	政治学	小畑 俊太郎/森 達也 ○
	経済学	高橋 聡/正上 常雄/由川 稔 ○
	法学	齋藤 美沙/尋木 真也/渡辺 英人 ○
	社会学	加藤 敦也/加藤 裕康/新津 尚子 ○
	環境学	村上 公久 ○
B群		
欧米	哲学	高橋 章仁 ○
	西洋史	田中 史高/森 斉丈 ○
	欧米文学	塩谷 祐人/三宅 美千代 ○
日文	言語学	小林 茂之 ○
	文学	上宇都 ゆりほ/中島 佐和子 ○
	日本思想	村松 晋 ○
	文化学	坂巻 理恵子 ○

科目名	担当教員	必修/選択
C群		
児童	演奏形式とその音楽	池上 真理子 ○
	絵本文化	上原 里佳 ○
こども心理	ヘルス・プロモーション概論	和田 雅史 ○
	障害児(者)の理解と社会	吉田 昌義 ○
	福祉環境学	山田 義文 ○
人間福祉	心理学概論	中原 純 ○
	社会福祉概論	山本 博之 ○
D群		
共生を考える		阿久戸 光晴 ○
多文化社会内起業		戸邊 治朗 ○

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

総合科目

学部教育の総仕上げとして、問題を総合的、思索的、批判的に掘り下げて考える力を養うことを目標とし、4年次に開講します。聖学院大学の教育の理念や建学の精神にも関わり、さらには大学院との接続を考慮した、より高度な、あるいは学際的な内容の科目です。

本科目群は必須のものではありませんが、それまでの聖学院大学における学びをより発展させたい場合や、大学院への進学を志す者はぜひ取得したい科目です。

開設科目

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
経済学研究A	柴田 武男	△
経済学研究B	大森 達也	△
地球環境論研究	村上 公久	△
まちづくり論研究	平 修久	△
リスク科学論研究	標 宣男	△
社会的起業論		△
地域文化論	佐藤 一子	△
欧米文化学特論	清水 正之	△

科目名	担当教員	必修/選択
日本思想特論		△
日本文化学研究		△
児童学研究	田澤 薫	△
高齢者保健福祉特論	古谷野 亘	△
児童福祉特論	中谷 茂一	△
障害者福祉特論	木下 大生	△
発達心理学研究	石川 由美子	△

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

政治経済学科

基本情報

(政治経済学部)

■開設年度 1988年

■学生数 1年次 142名

2年次 119名

3年次 158名

4年次 202名

(男493名/女128名)

2015年5月1日現在

1・2年次は政治経済学科のみ。

3・4年次はコミュニティ政策学科含む。

4つのコースを土台とした、

幅広い基礎知識と深い専門知識とを併せ持った人材を育成します。

時代の要請に合わせた、領域横断的な4つのコース「経済経営コース」「国際平和コース」「地域共生(まちづくり)コース」「情報コミュニケーションコース」を設け、徹底した少人数教育を通じて、一人ひとりの個性を伸ばします。広い視野と確かな専門性を備えた人材を育成します。

学科目標

学生一人ひとりの個性にあった《就職力》と《仕事力》を育成します。

民間企業のほか、議員事務所やNPOなどを含む多彩な受け入れ先でのインターンシップによる、学生の適性発見と職業体験の機会を提供します。各人が「自分らしさ」を一番発揮できる仕事を見つけ出すことをサポートします。

資格取得希望者、公務員を目指す人を手厚くバックアップします。

中学、高校教員資格の取得を積極的に奨励し、秘書検定や簿記検定の受験指導も行います。また、学科独自の「公務員試験対策プログラム」をベースに、一般行政職(市役所他)、警察官、消防官などの公務員試験の合格をサポートします。

学科概要

2014年4月、政治経済学科はカリキュラムを刷新し、定員を160名に拡大。国際化や情報化が進む地域社会の変化に対応する内容に変わりました。「政治学」「法学」「経済学」「経営学」「社会学」「情報学」という社会科学の6分野を横断的に学ぶことで、世界を見渡すグローバルな視点と地域を見つめるローカルな視点を兼ね備え、現代社会の問題解決を図ることのできる“グローバル”な人材の育成をめざします。

コース概要

■ 経済経営コース

ビジネスは、お金儲けではありません。営利・非営利を問わず、組織の活動を成功に導くことがビジネスの目的です。ビジネスに通じる基礎能力(マネジメント、マーケティング、会計など)を身につけ、社会の仕組みを理解します。

■ 地域共生(まちづくり)コース

時代とともに変化する人とのつながりの形を見つめ、個別・分断化する現代社会においていかに生きるかをともに考えます。NPOや地域と連携した実践的教育プログラムによって、行動力やコミュニケーション能力、人と人をつなぐ調整能力を身につけます。

■ 国際平和コース

複雑な国際社会の諸問題を解決するために、国際政治論や国際法などの専門知識を学びます。私たちの日常生活がどのように国際情勢と結びつき、国際平和とどのようにつながっているのかを見据えて自主的に行動できる自立した学生を育てます。

■ 情報コミュニケーションコース

情報学や社会学を主軸として、政治学、法学、経営学などを横断的に学びます。さらに情報技術によって変化するメディアのあり方などを学び、現代社会を形づくるコミュニケーションについて理解を深めます。

特色ある学び

■ インターンシップ

■ 政経特論

■ 海外研修

■ アセンブリアワー

■ 1年次からのゼミ

■ NPO・NGOとの連携

■ 就業力育成プログラム

■ 公務員試験対策プログラム (一般行政職・警察官・消防官)

将来の活躍分野

■ 金融業界

■ メーカー、商社、流通、販売業界

■ マスコミ、出版業界

■ NPO / NGO

■ 中学 / 高校教諭

■ 公務員

■ 起業家

■ 大学院進学

■ 留学

取得可能な資格

■ 高等学校教諭一種免許状(地理歴史、公民)

■ 中学校教諭一種免許状(社会)

■ 図書館司書資格

■ 学校図書館司書教諭資格

■ 社会福祉主事任用資格

■ 社会教育主事任用資格

[場合によっては取得可能な資格]

■ 小学校英語指導者資格

※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定

■ 日本語教師資格

※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、必要科目を修得すると修了証明書取得可

専任教員一覧



教授(基礎総合教育部兼務)
阿久戸 光晴
キリスト教社会倫理学、
日本国憲法



教授
飯島 康夫
都市史



教務部長 教授
石川 裕一郎
憲法、フランス法



学長補佐 教授
大高 研道
NPO・社会的企業論、
地域社会教育論



教授
大森 達也
比較経済、日本経済



教授(基礎総合教育部兼務)
小川 洋
教育社会学、教育行政学、
カナダ教育



教授
加藤 恵司
法思想史、民法(家族法)



准教授
金子 毅
経営史、労務管理、安全学



准教授
阿島 茂生
情報学、メディア研究、
図書館情報学



大学・学部チャレン 教授
菊地 順
キリスト教組織神学



特任講師
(大学院政治政策学研究科担当)
木村 裕二
民事法



助教
小松崎 利明
国際法、平和研究



教授
柴田 武男
金融市場論、企業経済論



学部長 教授
平 修久
まちづくり、政策評価



教授
高橋 愛子
西洋政治思想史、
政治過程論



准教授
竹井 潔
情報倫理、情報教育、
経営情報、管理学



学科長(政治経済学科兼コミュ
ニティ政策学科) 教授
谷口 隆一郎
哲学、倫理学、公共哲学



特任講師
内藤 みち
日本語言語学、対照言語学、
日本語教育、一般言語学



教授
土方 透
理論社会学、リスク社会学、
社会システム理論



特任教授
宮本 悟
政治学、国際政治学、比較
政治学、安全保障論、政軍
関係論、朝鮮半島研究



教授
村上 公久
森林資源学、森林水文学、
砂防工学、土壌浸食論、
環境保全論



准教授
森分 大輔
現代政治理論



キャリアデザイン部長 准教授
八木 規子
異文化マネジメント、
組織行動論、
質的研究手法



特任講師
山田 ひとみ
会計学、簿記



特任教授
(大学院政治政策学研究科担当)
吉川 保弘
租税法



総合図書館長 教授
吉田 博司
日本政治史、
日本政治思想史



教授
若松 昭子
図書館情報学、
情報メディア論



広報部長 准教授
渡辺 英人
法学、法情報学、
行政史研究

主な開設科目【専門科目群】

科目名	担当教員	必修／選択
専門基礎科目		
キリスト教社会倫理A	菊地 順／松本 周	◎
キリスト教社会倫理B	菊地 順／松本 周	◎
政治学	小畑 俊太郎／ 森 達也／ 森分 大輔／ 吉田 博司	◎
経済学	大森 達也／ 鈴木 真実哉／ 高橋 聡／ 正上 常雄／ 由川 稔	◎
政治学系		
Japanese view of Nature & Landscape Architecture	村上 公久	△
公共政策論	砂金 祐年	△
比較政治学	宮本 悟	△
国際政治論	小島 かおる	△
地域圏研究 (ロシア・東欧)	飯島 康夫	△
地域圏研究 (アメリカ)	小島 かおる	△
地域圏研究 (ヨーロッパ)	倉西 雅子	△
地域圏研究 (アジア)	宮本 悟	△
地方自治論	鈴木 潔	△
行政学	鈴木 潔	△
環境保全論	村上 公久	△
国際政治史	宮本 悟	△
日本政治史	吉田 博司	△
日本政治思想史	吉田 博司	△
環境政策論	平 修久	△
埼玉地域政策研究	大塚 健司	△
公共哲学	谷口 隆一郎	△
政治哲学	森分 大輔	△
平和学	小松崎 利明	△
法学系		
法学	齋藤 美沙／ 尋木 真也／ 渡辺 英人	△
法思想史	加藤 恵司	△
民法A (総則・物権)	松谷 秀祐	△
民法B (債権)	松谷 秀祐	△
民法C (親族・相続)	加藤 恵司	△
商法概論	佐藤 文彦	△
税法概論	田口 安克	△
国際法	小松崎 利明	△
行政法	仲田 孝仁	△
国際人権・人道法	小松崎 利明	△
比較憲法	松村 芳明	△
経済法	倉西 雅子	△
法哲学	宮澤 弘	△
法と実務A	木村 裕二	△
法と実務B	木村 裕二	△
経済学系		
ミクロ経済学	中野 宏	△
マクロ経済学	由川 稔	△
経済学史	鈴木 真実哉	△
財政学	正上 常雄	△
社会政策	金子 良事	△
公的扶助論	藤田 孝典	△
比較経済体制論	大森 達也	△
日本経済論	大森 達也	△
企業経済論A	柴田 武男	△
企業経済論B	柴田 武男	△
日本経済史	高橋 聡	△

科目名	担当教員	必修／選択
中小企業論	酒井 俊行	△
地方財政	茂住 政一郎	△
経営学系		
経営学	酒井 祐太郎／ 八木 規子	△
会計学	山田 ひとみ	△
ファイナンス	小林 一之	△
マーケティング論	T.アサモア	△
簿記(初級)	山田 ひとみ	△
異文化マネジメント	八木 規子	△
組織行動論	八木 規子	△
経営管理	金子 毅	△
簿記(中級)A	山田 ひとみ	△
税務・会計入門	山田 ひとみ	△
ベンチャー・ビジネス論	関水 信和	△
経営史	金子 毅	△
国際ビジネスの現場A	柴田 武男	△
国際ビジネスの現場B	柴田 武男	△
社会学系		
社会学	加藤 敦也／ 加藤 裕康／ 新津 尚子	△
環境学	村上 公久	△
まちづくり学	平 修久	△
地域福祉	榊 伴夫	△
社会心理学	中原 純	△
理論社会学	土方 透	△
家族社会学	齋藤 圭介	△
マスコミュニケーション論	竹田 香織	△
現代社会論	土方 透	△
ポランティア概論	川田 虎男	△
地域社会と生協	大高 研道	△
文化社会学	未定	△
ジェンダー論(男性学)	加藤 敦也	△
情報学系		
情報学	河島 茂生	△
情報倫理	竹井 潔	△
デジタルメディア論	原島 大輔	△
法政情報論	渡辺 英人	△
情報メディア史	若松 昭子	△
コンピュータ応用実習A	鈴木 省吾	△
コンピュータ応用実習B	二神 常爾	△
コンピュータ応用実習C	二神 常爾	△
情報通信ネットワーク論	竹井 潔	△
情報と職業	渡辺 英人	△
情報リスク論	鈴木 省吾	△
図書館情報技術論	河島 茂生	△
情報サービス論	吉田 隆	△
情報サービス演習A	吉田 隆	△
情報サービス演習B	坂内 悟	△
その他		
秘書学概論	永井 キクヨ	△
ビジネス実務	永井 キクヨ	△
インディペンデント・ スタディA		△
インディペンデント・ スタディB		△
インディペンデント・ スタディC		△
インディペンデント・ スタディD		△
政治経済学特講 (西洋政治思想講読A)	高橋 愛子	△
政治経済学特講 (西洋政治思想講読B)	高橋 愛子	△
政治経済学特講 (法学)	石川 裕一郎	△
政治経済学特論A (財政学の探求)	島村 玲雄	△
政治経済学特論B (ジェンダー法)	武藤 健一	△

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修／選択
政治経済学特論B (ジェンダーと憲法)	武藤 健一	△
政治経済学特論B (逸脱行為論)	鮎田 実	△
コミュニティ実習A		△
コミュニティ実習B		△
コミュニティ実習C		△
教職専門科目		
自然地理学概説	秋山 秀一	△
人文地理学概説	飯島 康夫	△
西洋史概説A	南 祐三	△
西洋史概説B	南 祐三	△
西洋思想史	谷口 隆一郎	△
地誌学概説A	秋山 秀一	△
地誌学概説B	秋山 秀一	△
哲学概論	大賀 祐樹	△
東洋史概説A	赤坂 恒明	△
東洋史概説B	赤坂 恒明	△
日本史概説A	東島 誠	△
日本史概説B	上安 祥子	△
公務員		
公務員講座 (人文・社会)	渡辺 英人	△
公務員講座 (文章理解)	大槻 岳	△
公務員講座演習C (数的・判断推理)	鈴木 潔／ 渡辺 英人	△
公務員講座演習C (人文・社会)	砂金 祐年	△
公務員特講 (自治体研究A)	猪狩 廣美	△
公務員特講 (自治体研究B)	北川 嘉昭	△
公務員演習I	砂金 祐年	△
公務員演習II	砂金 祐年	△
公務員講座 (専門A)	猪狩 廣美／ 渡辺 英人	△
公務員講座 (専門B)	猪狩 廣美／ 渡辺 英人	△
社会教育主事		
生涯学習概論A	小池 茂子	△
生涯学習概論B	小池 茂子	△
社会教育計画A	安斎 聡子	△
社会教育計画B	安斎 聡子	△
社会教育課題研究A	安斎 聡子	△
社会教育課題研究B	安斎 聡子	△
現代社会と社会教育A	小池 茂子	△
現代社会と社会教育B	小池 茂子	△
演習科目		
予備演習A		◎
予備演習B		◎
専門演習A (環境保全論)	村上 公久	○
専門演習A (企業経済論)	柴田 武男	○
専門演習A (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
専門演習A (金融論)	鈴木 真実哉	○
専門演習A (経営管理)	金子 毅	○
専門演習A (憲法)	石川 裕一郎	○
専門演習A (情報倫理)	竹井 潔	○
専門演習A (政治過程論)	高橋 愛子	○
専門演習A (政治哲学)	森分 大輔	○
専門演習A (組織行動論)	八木 規子	○

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等のため、記載していない科目もございます。)

※必修、選択必修、選択科目の表記は卒業要件単位について示しています。資格取得の場合に必要な科目もあります。

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修/選択
専門演習A (地域社会論)	大高 研道	○
専門演習A (日本経済論)	大森 達也	○
専門演習A (日本政治思想史)	吉田 博司	○
専門演習A (平和学)	小松崎 利明	○
専門演習A (法思想史)	加藤 恵司	○
専門演習A (法政情報論)	渡辺 英人	○
専門演習A (まちづくり学)	平 修久	○
専門演習A (政治・経済)	未定	○
専門演習B (環境保全論)	村上 公久	○
専門演習B (企業経済論)	柴田 武男	○
専門演習B (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
専門演習B (金融論)	鈴木 真実哉	○
専門演習B (経営管理)	金子 毅	○
専門演習B (憲法)	石川 裕一郎	○
専門演習B (情報倫理)	竹井 潔	○
専門演習B (政治過程論)	高橋 愛子	○
専門演習B (政治哲学)	森分 大輔	○
専門演習B (組織行動論)	八木 規子	○
専門演習B (地域社会論)	大高 研道	○
専門演習B (日本経済論)	大森 達也	○
専門演習B (日本政治思想史)	吉田 博司	○
専門演習B (平和学)	小松崎 利明	○
専門演習B (法思想史)	加藤 恵司	○
専門演習B (法政情報論)	渡辺 英人	○
専門演習B (まちづくり学)	平 修久	○
専門演習B (政治・経済)	未定	○
卒業研究Ⅰ (環境保全論)	村上 公久	○
卒業研究Ⅰ (企業経済論)	柴田 武男	○
卒業研究Ⅰ (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
卒業研究Ⅰ (金融論)	鈴木 真実哉	○
卒業研究Ⅰ (経営管理)	金子 毅	○
卒業研究Ⅰ (憲法)	石川 裕一郎	○
卒業研究Ⅰ (公共哲学)	谷口 隆一郎	○
卒業研究Ⅰ (情報学)	河島 茂生	○
卒業研究Ⅰ (情報倫理)	竹井 潔	○

科目名	担当教員	必修/選択
卒業研究Ⅰ (政治過程論)	高橋 愛子	○
卒業研究Ⅰ (政治哲学)	森分 大輔	○
卒業研究Ⅰ (組織行動論)	八木 規子	○
卒業研究Ⅰ (地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
卒業研究Ⅰ (地域社会論)	大高 研道	○
卒業研究Ⅰ (日本経済論)	大森 達也	○
卒業研究Ⅰ (日本政治思想史)	吉田 博司	○
卒業研究Ⅰ (平和学)	小松崎 利明	○
卒業研究Ⅰ (法思想史)	加藤 恵司	○
卒業研究Ⅰ (法政情報論)	渡辺 英人	○
卒業研究Ⅰ (まちづくり学)	平 修久	○
卒業研究Ⅰ (理論社会学)	土方 透	○
卒業研究Ⅰ (政治・経済)	未定	○
卒業研究Ⅱ (環境保全論)	村上 公久	○
卒業研究Ⅱ (企業経済論)	柴田 武男	○
卒業研究Ⅱ (キリスト教社会倫理)	菊地 順	○
卒業研究Ⅱ (金融論)	鈴木 真実哉	○
卒業研究Ⅱ (経営管理)	金子 毅	○
卒業研究Ⅱ (憲法)	石川 裕一郎	○
卒業研究Ⅱ (公共哲学)	谷口 隆一郎	○
卒業研究Ⅱ (情報学)	河島 茂生	○
卒業研究Ⅱ (情報倫理)	竹井 潔	○
卒業研究Ⅱ (政治過程論)	高橋 愛子	○
卒業研究Ⅱ (政治哲学)	森分 大輔	○
卒業研究Ⅱ (組織行動論)	八木 規子	○
卒業研究Ⅱ (地域圏研究ロシア)	飯島 康夫	○
卒業研究Ⅱ (地域社会論)	大高 研道	○
卒業研究Ⅱ (日本経済論)	大森 達也	○
卒業研究Ⅱ (日本政治思想史)	吉田 博司	○
卒業研究Ⅱ (平和学)	小松崎 利明	○
卒業研究Ⅱ (法思想史)	加藤 恵司	○
卒業研究Ⅱ (法政情報論)	渡辺 英人	○
卒業研究Ⅱ (まちづくり学)	平 修久	○
卒業研究Ⅱ (理論社会学)	土方 透	○
卒業研究Ⅱ (政治・経済)	未定	○
卒業論文		△

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

※必修、選択必修、選択科目の表記は卒業要件単位について示しています。資格取得の場合に必要な科目もあります。

欧米文化学科

基本情報

■開設年度	1992年
■学生数	1年次 54名
	2年次 52名
	3年次 49名
	4年次 84名
	(男123名/女116名)
	2015年5月1日現在

学科目標

グローバルに活躍する国際人を育てます。

グローバル時代にふさわしい国際的な感性をもった学生を育成します。異文化交流だけでなく、世界のさまざまな地域の社会事情、さらには多様なメディア文化を学ぶことで、幅広い視野と行動力を合わせもった人材を育てます。

2つのモデルコースで一人ひとりの学びを支援します。

「グローバル文化コース」と「グローバル・コミュニケーションコース」という二つのコースを選ぶことができます。英語をはじめとする外国語や、さまざまな社会問題の文化的、歴史的背景など、学生の関心にそくしてカリキュラムを組むことができるだけでなく、教員が学生一人ひとりをきめ細かくサポートすることができます。

学科概要

現代文化の共通の基礎になっている欧米文化を中心に、歴史、思想、言語を柱に深く広く学びます。グローバル社会のなかで求められる国際的な教養や語学力を身につけ、多様な文化圏の人びとと自由にコミュニケーションできる能力を養います。

特色ある学び

- 1年次からのゼミ
- 英語強化プログラム
- 副専攻制度
- 人文チュートリアル制度
- 留学・海外文化研修
- 児童英語教育
- 就業力育成プログラム
- 海外企業インターンシップ

将来の活躍分野

- 流通・販売業界や出版業界
- 旅行・観光業界や航空関連業界
- 外資系企業や商社
- 中学／高校教諭、児童英語指導者
または日本語教師
- 公務員
- 大学院進学
- 留学

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(英語)
- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会
(J-SHINE)認定
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」
で必要科目を修得することで修了証明書取得可
- 学校図書館司書教諭資格
- 図書館司書資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格

専任教員一覧



教授
K.O. アンダスン
英米文学(現代詩)、
英米文化



教授
氏家 理恵
英米文学、映像文化、
イギリス文化



特任講師
小川 隆夫
英語教授法、
児童英語教育



学部チャプレン
国際部長 教授
E. D. オズバーン
キリスト教組織神学



教授
加曾利 実
一般言語学(比較音声学、
比較統語論)、心理言語学、
言語教授法



教授
M. サベット
英語教育、海外留学にお
ける多文化スタディ



准教授
島田 由紀
キリスト教倫理学、
現代北米キリスト教思想



学科長 教授
D. バーガー
社会言語学、語用論



助教
畠山 宗明
映像文化、視覚文化、
大衆文化



准教授
東 仁美
小学校英語教育



教授
和田 光司
フランス近世史、
宗教改革史

主な開設科目【専門科目群】

科目名	担当教員	必修／選択
基礎科目群		
キリスト教文化論A	E.D. オズバーン	◎
キリスト教文化論B	E.D. オズバーン	◎
基礎ゼミA	島田 由紀／ 畠山 宗明／ 和田 光司	◎
基礎ゼミB	氏家 理恵／ 東 仁美／ 畠山 宗明	◎
埼玉学	清水 正之	◎
国際社会の基礎知識		○
社会人のための表現力演習	作田 奈苗	○
異文化理解科目群		
グローバル化時代の倫理A	島田 由紀	△
グローバル化時代の倫理B	島田 由紀	△
異文化理解	島田 由紀	△
多文化共生論		△
Intercultural Communication	E.D. オズバーン	△
異文化マネジメント	八木 規子	△
国際ボランティア入門A	金沢 はるえ	△
国際ボランティア入門B	金沢 はるえ	△
観光業講座		△
ツーリズムと文化形成		△
異文化コミュニケーション実習		△
表現文化科目群		
社会と芸術文化B	畠山 宗明	△
英語圏文化	氏家 理恵	△
英米文学概論	富田 光明	△
英米児童文学	松本 祐子	△
ファンタジー論	松本 祐子	△
西洋美術	瀧井 直子	△
グローバル映像文化	畠山 宗明	△
大衆文化論	畠山 宗明	△
ファッション学		△
表現文化実習A		△
表現文化実習B		△
Japanese Literature		△
グローバル世界科目群		
現代ヨーロッパ事情	和田 光司	○
グローバル世界の歴史A	和田 光司	△
グローバル世界の歴史B	南 祐三	△
ヨーロッパ近現代史	和田 光司	△
イスラム文明	赤坂 恒明	△
イスラムと現代世界	赤坂 恒明	△
Language in Society	D. バーガー	△
マスコミュニケーション論	竹田 香織	△
グローバル文化特論	畠山 宗明	△
グローバル文化フィールド実習		△
Japanese History		△
コミュニケーション科目群		
TOEIC(初級)A	東 仁美	△
TOEIC(初級)B	櫻井 智美	△
TOEIC(中級)A	渋谷 とし子	△
TOEIC(中級)B	中村 香代子	△
TOEFL A	中村 香代子	△
TOEFL B	中村 香代子	△
映画を通して学ぶ文化と英語	中村 香代子	△
音楽を通して学ぶ文化と英語	K.O. アンダスン	△
英語スピーチ発音法	加曾利 実	△
就職に役立つ基礎英語	小川 隆夫	△
職場で役立つ基礎英語	櫻井 智美	△

科目名	担当教員	必修／選択
Academic Listening & Speaking		△
College Reading Skills	D. バーガー	△
College Writing Skills	K.O. アンダスン	△
Speech & Debate A	M. サベット	△
Speech & Debate B	M. サベット	△
現代英文法	小川 隆夫	△
言語学概論	D. バーガー	△
英語学概論	加曾利 実	△
英語音声学	加曾利 実	△
フランス語(総合)	石田 明夫／ 塩谷 祐人	△
フランス語コミュニケーションA(総合)	F. ルデュール	△
フランス語コミュニケーションB(総合)	F. ルデュール	△
ドイツ語(総合)	小谷 哲夫／ 清水 威能子	△
英語教育科目群		
児童英語教育(理論)	小川 隆夫	△
児童英語教育(カリキュラム・デザイン)	渋谷 とし子	△
児童英語教育(ワークショップA)	A. クラウス	△
児童英語教育(ワークショップB)	幡井 理恵	△
児童英語教育(インターンシップⅠ)	東 仁美	△
児童英語教育(インターンシップⅡ)	東 仁美	△
関連科目群		
レポート作成法		△
インディペンデントスタディA		△
インディペンデントスタディB		△
インディペンデントスタディC		△
インディペンデントスタディD		△
海外研修A		△
海外研修B		△
海外研修C		△
海外研修D		△
欧米文化学特論		△
演習科目		
専門演習(キリスト教文化)Ⅰ	E.D. オズバーン	○
専門演習(キリスト教文化)Ⅱ	E.D. オズバーン	○
専門演習(ヨーロッパ史)Ⅰ	和田 光司	○
専門演習(ヨーロッパ史)Ⅱ	和田 光司	○
専門演習(英米文学)Ⅰ	氏家 理恵	○
専門演習(英米文学)Ⅱ	氏家 理恵	○
専門演習(Pop Culture)Ⅰ	K.O. アンダスン	○
専門演習(Pop Culture)Ⅱ	K.O. アンダスン	○
専門演習(多文化共生論)Ⅰ		○
専門演習(多文化共生論)Ⅱ		○
専門演習(映像文化)Ⅰ		○
専門演習(映像文化)Ⅱ		○

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修／選択
専門演習(言語と社会)Ⅰ	D. バーガー	○
専門演習(言語と社会)Ⅱ	D. バーガー	○
専門演習(英語学)Ⅰ	加曾利 実	○
専門演習(英語学)Ⅱ	加曾利 実	○
専門演習(国際理解)Ⅰ	M. サベット	○
専門演習(国際理解)Ⅱ	M. サベット	○
専門演習(児童英語教育)Ⅰ	東 仁美	○
専門演習(児童英語教育)Ⅱ	東 仁美	○
専門演習(欧米文化)		○
卒業研究(キリスト教文化)Ⅰ	E.D. オズバーン	○
卒業研究(キリスト教文化)Ⅱ	E.D. オズバーン	○
卒業研究(ヨーロッパ史)Ⅰ	和田 光司	○
卒業研究(ヨーロッパ史)Ⅱ	和田 光司	○
卒業研究(英米文学)Ⅱ	氏家 理恵	○
卒業研究(Pop Culture)Ⅰ	K.O. アンダスン	○
卒業研究(Pop Culture)Ⅱ	K.O. アンダスン	○
卒業研究(多文化共生論)Ⅰ		○
卒業研究(多文化共生論)Ⅱ		○
卒業研究(映像文化)Ⅰ		○
卒業研究(映像文化)Ⅱ		○
卒業研究(言語と社会)Ⅰ	D. バーガー	○
卒業研究(言語と社会)Ⅱ	D. バーガー	○
卒業研究(英語学)Ⅰ	加曾利 実	○
卒業研究(英語学)Ⅱ	加曾利 実	○
卒業研究(国際理解)Ⅰ	M. サベット	○
卒業研究(国際理解)Ⅱ	M. サベット	○
卒業研究(児童英語教育)Ⅰ	東 仁美	○
卒業研究(児童英語教育)Ⅱ	東 仁美	○
卒業論文		○

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

日本文化学科

基本情報

■開設年度 1998年
■学生数 1年次 65名
2年次 88名
3年次 82名
4年次 106名
(男202名/女139名)
2015年5月1日現在

学科目標

- 自分に秘められた才能と出会える多彩なカリキュラムを設置し、少人数の教育によって、その能力の開発に努めます。
- 日本語表現のエキスパートとして、社会で活躍できる人材を育成します。
- 教員志望、司書教諭志望者には、十分な支援体制を整え、現役での教員採用試験合格を目指します。
- 日本文化学科として学会誌を毎年発行しており、優れた卒業論文を活字化するなど、大学院進学に向けた、より専門的な指導も行います。

学科概要

日本文化をグローバルな視点からとらえ直すことを目的に、文学・語学・歴史・思想・文化論・比較文化の3つを柱に多面的に学びます。伝統文化だけでなく、ポップカルチャーなどの現代若者文化も探求します。

特色ある学び

- 埼玉学 地域と芸術文化
- 日本語に強い人材の育成
- アセンブリアワーにおける多彩なプログラム
- ライフデザイン・良く生きる
- 体験と実践を重視したカリキュラム
- 教員採用試験突破システム

将来の活躍分野

- 各種図書館司書・司書教諭
- 中学・高校の国語教諭
- 日本語教師
- 企業・団体(営業、事務、企画、サービスなど)
- 福祉施設
- 大学院進学
- 出版・印刷業
- 文化教育機関職員
- 留学

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(国語)
- 中学校教諭一種免許状(国語)
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で必要科目を修得すると修了証明書取得可
- 学校図書館司書教諭資格
- 図書館司書資格
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格
- 社会調査士

専任教員一覧



教授
川口 さち子
日本語教育(教授法、教師養成、文法指導)、対照研究(日仏・日中・日韓)



教授
川崎 司
日本プロテスタント史



准教授
木下 綾子
平安文学(物語・漢語文)



教授
熊谷 芳郎
国語科教育



准教授
黒崎 佐仁子
日本語教育、多文化共生



准教授
小林 茂之
歴史言語学、理論言語学、言語とこころの哲学



学部長 教授
清水 均
日本近現代文学、日本近現代文化



学生部長 教授
濱田 寛
平安朝日本漢文学、和漢比較文学



広報副部長 教授
東島 誠
歴史学、政治思想史



学科長 教授
村松 晋
近代日本思想史、精神史



学部チャレン 准教授
柳田 洋夫
日本倫理思想史、キリスト教倫理、日本プロテスタント思想史



広報副部長代行 准教授
横山 寿世理
自我の社会学、記憶の社会学、社会学理論

主な開設科目【専門科目群】

科目名	担当教員	必修／選択
学科基礎科目		
キリスト教文化論A	柳田 洋夫	◎
キリスト教文化論B	柳田 洋夫	◎
埼玉学	清水 正之	◎
日本文化概論	清水 均	◎
ライフデザイン・良く生きるA	清水 均	◎
ライフデザイン・良く生きるB	柳田 洋夫	◎
文章表現法	太田 ミユキ／坂巻理恵子／副田 恵	◎
日本語学概説	小林 茂之	○
日本文学概説	木下 綾子	○
日本史概説A	東島 誠	○
日本史概説B	上安 祥子	○
日本語教育概論	北村 淳子	○
古典読解A	網本 尚子	○
日本思想入門	村松 晋	○
日本文化入門	寺田 詩麻	○
日本思想概説	清水 正之	○
相関文化	村松 晋	○
地域と芸術文化	清水 均	○
日本の芸能・工芸A	茂山 千三郎	○
日本の芸能・工芸C	山田 理映	○
放送文化	川野 一宇	○
ナレーション	川野 一宇	○
文芸(創作)A	藤田 のぼる	○
文芸(創作)B	佐怒賀 直美	○
日本語表現法(ティベート)	近藤 聡	○
書道	小室 陽子	○
海外文化交流研修(アジア)A	川口 さち子／清水 均	○
文化論・比較文化系		
日本の演劇	寺田 詩麻	△
日本の美術	佐伯 英里子	△
日本の民俗		△
日本のポップ・カルチャー	清水 均	△
グローバル映像文化	畠山 宗明	△
女性学	藤田 和美	△
社会調査入門	横山 寿世理	△
社会調査の方法	横山 寿世理	△
社会統計学の基礎		△
量的データ解析の方法		△
社会調査実習Ⅰ		△
社会調査実習Ⅱ		△
文化の社会学	横山 寿世理	△
文化人類学	中空 萌	△
韓国文化演習	清水 均	△
日本文化特殊講義	横山 寿世理	○
比較文化特殊講義①	濱田 寛	○
Intercultural Communication	E.D. オズバーン	△
文学・語学系		
日本文学史(上代・中古)	木下 綾子	△
日本文学史(中世・近世)	家永 香織	△
日本文学史(近現代)	前田 潤	△
日本文学研究と批評(古典①)	渡辺 正人	△
日本文学研究と批評(古典②)	木下 綾子	△
日本文学研究と批評(近現代①)	佐藤 ゆかり	△
日本文学の中のキリスト教A	佐藤 ゆかり	△
児童文学	藤田 のぼる	△
言語学概論	D. バーガー	△
対照言語学	文 智映	△
言語文化論	小林 茂之	△
心理言語学	川手 恩	△
古典日本語Ⅰ	上宇都よりほ	△
古典日本語Ⅱ	渡辺 正人	△
中国文学	濱田 寛	△
日本語学(文法)A	黒崎 佐仁子	△
日本語学(文法)B	未定	△
日本語学(音声・音韻)A	棚橋 明美	△
日本語学(音声・音韻)B	棚橋 明美	△
言語使用と社会	内藤 みち	△
韓国語コミュニケーション	溝口 カブスン	△
中国語コミュニケーション	関 子謙	△

科目名	担当教員	必修／選択
日本語教授法講義	川口 さち子	△
日本語教授法演習	木原 郁子	△
日本語教育実習	川口 さち子	△
日本語教材・教具論	作田 奈苗	△
日本文学特殊講義①	家永 香織	○
日本文学特殊講義②	前田 潤	○
日本語学特殊講義	大江 元貴	○
Language in Society	D.バーガー	△
Theory of Language & Culture		△
Japanese Literature		△
歴史・思想系		
日本史の研究(古代史特論)	稲田 奈津子	△
日本史の研究(中世史特論)	伊川 健二	△
日本史の研究(近世史特論)	上安 祥子	△
日本史の研究(源平動乱史特論)	東島 誠	△
日本史の研究(南北朝動乱史特論)	東島 誠	△
日本史の研究(戦国時代史特論)	東島 誠	△
日本史の研究(幕末維新史特論)	東島 誠	△
歴史と文化	東島 誠	△
日本の思想(神道・国学)	清水 正之	△
日本の思想(儒教)	上安 祥子	△
日本の思想(仏教)	高山 秀嗣	△
日本の思想(キリスト教)	村松 晋	△
比較宗教学	芦名 裕子	△
中国思想	大坊 真伸	△
日本思想特殊講義	村松 晋	○
Japanese History		△
応用科目		
教えるための現代文A	熊谷 芳郎	△
教えるための古典Ⅰ	木下 綾子／濱田 寛	△
教えるための古典Ⅱ	木下 綾子／濱田 寛	△
教えるための古典Ⅲ	木下 綾子／濱田 寛	△
教えるための古典Ⅳ	木下 綾子／濱田 寛	△
生涯学習概論		△
図書館情報学特論		△
図書館サービス概論		△
情報メディア史		△
インディペンデント・スタディA		△
インディペンデント・スタディB		△
インディペンデント・スタディC		△
インディペンデント・スタディD		△
修了科目		
卒業レポートA(言語①)	小林 茂之	○
卒業レポートA(言語②)	川口 さち子	○
卒業レポートA(比較文化 アジア①)		○
卒業レポートA(比較文化 アジア②)	濱田 寛	○
卒業レポートA(古典文学①)		○
卒業レポートA(古典文学②)		○
卒業レポートA(近現代文学①)		○
卒業レポートA(近現代文学②)		○
卒業レポートA(歴史①)	東島 誠	○
卒業レポートA(歴史②)	川崎 司	○
卒業レポートA(思想①)	清水 正之	○
卒業レポートA(思想②)	村松 晋	○
卒業レポートA(思想③)	柳田 洋夫	○
卒業レポートA(近現代文化①)	清水 均	○
卒業レポートA(近現代文化②)	熊谷 芳郎	○
卒業レポートA(近現代文化③)		○
卒業レポートB(言語①)	小林 茂之	○
卒業レポートB(言語②)	川口 さち子	○
卒業レポートB(比較文化アジア①)		○
卒業レポートB(比較文化アジア②)	濱田 寛	○
卒業レポートB(古典文学①)		○
卒業レポートB(古典文学②)		○

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修／選択
卒業レポートB(近現代文学①)		○
卒業レポートB(近現代文学②)		○
卒業レポートB(歴史①)	東島 誠	○
卒業レポートB(歴史②)	川崎 司	○
卒業レポートB(思想①)	清水 正之	○
卒業レポートB(思想②)	村松 晋	○
卒業レポートB(思想③)	柳田 洋夫	○
卒業レポートB(近現代文化②)	熊谷 芳郎	○
卒業レポートB(近現代文化③)		○
卒業論文		○
演習科目		
専門演習Ⅰ(言語①)	小林 茂之	○
専門演習Ⅰ(言語②)	川口 さち子	○
専門演習Ⅰ(比較文化①)		○
専門演習Ⅰ(比較文化③)	濱田 寛	○
専門演習Ⅰ(文化①)	木下 綾子	○
専門演習Ⅰ(文学②)		○
専門演習Ⅰ(文学④)		○
専門演習Ⅰ(歴史・思想①)	東島 誠	○
専門演習Ⅰ(歴史・思想③)	清水 正之	○
専門演習Ⅰ(歴史・思想④)	村松 晋	○
専門演習Ⅰ(歴史・思想⑤)	柳田 洋夫	○
専門演習Ⅰ(文化①)	横山 寿世理	○
専門演習Ⅰ(文化②)		○
専門演習Ⅰ(文化③)	清水 均	○
専門演習Ⅰ(文化④)	熊谷 芳郎	○
専門演習Ⅱ(言語①)	小林 茂之	○
専門演習Ⅱ(言語②)	川口 さち子	○
専門演習Ⅱ(比較文化①)		○
専門演習Ⅱ(比較文化③)	濱田 寛	○
専門演習Ⅱ(文学①)	木下 綾子	○
専門演習Ⅱ(文学②)		○
専門演習Ⅱ(文学④)		○
専門演習Ⅱ(歴史・思想①)	東島 誠	○
専門演習Ⅱ(歴史・思想③)	清水 正之	○
専門演習Ⅱ(歴史・思想④)	村松 晋	○
専門演習Ⅱ(歴史・思想⑤)	柳田 洋夫	○
専門演習Ⅱ(文化①)	横山 寿世理	○
専門演習Ⅱ(文化③)	清水 均	○
専門演習Ⅱ(文化④)	熊谷 芳郎	○
卒業研究(言語①)Ⅰ	小林 茂之	○
卒業研究(言語①)Ⅱ	小林 茂之	○
卒業研究(言語②)Ⅰ	川口 さち子	○
卒業研究(言語②)Ⅱ	川口 さち子	○
卒業研究(比較文化 アジア①)Ⅰ		○
卒業研究(比較文化 アジア②)Ⅰ		○
卒業研究(比較文化 アジア②)Ⅱ	濱田 寛	○
卒業研究(比較文化 アジア②)Ⅲ	濱田 寛	○
卒業研究(比較文化 欧米)Ⅰ		○
卒業研究(比較文化 欧米)Ⅱ		○
卒業研究(古典文学①)Ⅰ		○
卒業研究(古典文学①)Ⅱ		○
卒業研究(古典文学②)Ⅰ		○
卒業研究(古典文学②)Ⅱ		○
卒業研究(近現代文学②)Ⅰ		○
卒業研究(近現代文学②)Ⅱ		○
卒業研究(歴史①)Ⅰ	東島 誠	○
卒業研究(歴史①)Ⅱ	東島 誠	○
卒業研究(思想①)Ⅰ	清水 正之	○
卒業研究(思想①)Ⅱ	清水 正之	○
卒業研究(思想②)Ⅰ	村松 晋	○
卒業研究(思想②)Ⅱ	村松 晋	○
卒業研究(思想③)Ⅰ	柳田 洋夫	○
卒業研究(思想③)Ⅱ	柳田 洋夫	○
卒業研究(近現代文化①)Ⅰ	清水 均	○
卒業研究(近現代文化①)Ⅱ	清水 均	○
卒業研究(近現代文化②)Ⅰ	熊谷 芳郎	○
卒業研究(近現代文化②)Ⅱ	熊谷 芳郎	○
卒業研究(近現代文化③)Ⅰ		○
卒業研究(近現代文化③)Ⅱ		○
教職演習B	熊谷 芳郎	○

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

児童学科

基本情報

■開設年度 1992年
■学生数 1年次 100名
2年次 101名
3年次 101名
4年次 109名
(男174名/女237名)
2015年5月1日現在

学科目標

- 子どもに寄り添いながらその思いを深く理解して、
子どもの育ちにふさわしい環境をつくっていく実践者を育てます。
- 保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得し、
子どもとその家族のよきパートナーとなる専門家を育てます。
- 児童学を学んで、互いに尊重して関わりあう能力を培い、
責任感のある社会人に育てます。

具体的数値目標

保育士資格取得者・・・・・・・・・・・・・・ 100名
幼稚園教諭一種免許状取得者・・・・・・・・・・・・・・ 100名
小学校教諭一種免許状取得・・・・・・・・・・・・・・ 50名
※児童学科全体の就職志望者の就職率93.8%の実績があります。 ※2014年度の児童学科卒業生の中から、14名が小学校の教壇に立つことになりました(正規採用10名、臨時採用等4名含む)。

学科概要

保育・教育、心理、文化、福祉、キリスト教教育の5領域から児童学を学び、人間として育つことについて深く考えます。
小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の資格取得に向けた専門性を養うとともに、子どもと大人との関係を探求する力を育てます。

特色ある学び

- 保育実習
- 教育実習
- 教職演習
(教員採用試験対策講座)
- アセンブリアワー
- 海外実習(聖学院アトランタ
国際校[SAINTS])
- おもちゃインストラクター
養成講座

将来の活躍分野

- 小学校教諭
- 幼稚園教諭
- 保育士
- 大学院進学
- 一般企業
- 公務員

取得可能な資格

- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格
- 小学校教諭一種免許状
- 学校図書館司書教諭資格
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、
必要科目を修得すると修了証明書取得可
- 児童指導員任用資格
※児童福祉施設(児童養護施設など)で「児童指導
員」として勤務する際に必要となる資格
- 図書館司書資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格
- おもちゃインストラクター
※NPO法人日本グッド・トイ委員会認定資格

専任教員一覧

 准教授 相川 徳孝 幼児教育、保育実践論	 特任講師 市村 和子 初等国語科教育、 生活科教育	 教授 鎌原 雅彦 教育心理学	 特任講師 川瀬 敏行 初等社会科教育	 国際副部長 教授 喜田 敬 フラインアート		
 教授 小池 茂子 生涯学習、社会教育	 特任講師 齋藤 範雄 算数数学教育	 特任講師 坂本 佳代子 障害児保育	 准教授 佐藤 千瀬 異文化間教育、幼児教育	 副学科長兼学科長代行 田澤 薫 児童学、児童福祉	 准教授 寺崎 恵子 教育学、教育文化	 助教 広瀬 歩美 子どもの食と栄養
 基礎総合教育部長 教授 松本 祐子 児童文学、英文学	 特任講師 丸山 綱男 理科教育	 学科長 聖学院小学校長 村山 順吉 ピアノ演奏、音楽創造論、 音楽教育学	 学部チャプレン 教授 山口 博 組織神学、 キリスト教教育			

主な開設科目【専門科目群】

科目名	担当教員	必修／選択
共通基礎科目		
キリスト教人間学A	山口 博	◎
キリスト教人間学B	山口 博	◎
児童学概論	田澤 薫	◎
教職基礎	小池 茂子／ 松本 祐子	△
教職演習A	川瀬 敏行	△
教職演習B	齋藤 範雄	△
教職演習C	市村 和子	△
教職演習E	齋藤 範雄	△
教職演習F	丸山 綱男	△
教職演習G	市村 和子	△
人間福祉の探求	古谷野 亘	△
海外実習(SAINTS)	佐藤 千瀬	△
フィールドワーク	相川 徳孝／ 市村 和子／ 松本 祐子	△
児童学海外研修	佐藤 千瀬	△
児童文化系統		
児童文化論A	田澤 薫	◎
児童文化論B	寺崎 恵子	◎
絵本文化論	上原 里佳	△
英米児童文学	松本 祐子	△
ファンタジー論	松本 祐子	△
おもちゃ論	中村 輝美	△
児童英語教材研究A	東 仁美	△
児童英語教材研究B	小川 隆夫	△
心理学系統		
教育心理学	鎌原 雅彦	△
教育心理学特論	鎌原 雅彦	△
発達心理学	徳井 千里	◎
教育相談 (カウンセリングを含む。)	鎌原 雅彦	△
教育学系統		
教育原理	寺崎 恵子	◎
キリスト教保育論	田中 かおる	△
教育社会学	小川 洋	△
学校と教育の歴史	石津 靖大	△
現代社会と社会教育A	小池 茂子	△
現代社会と社会教育B	小池 茂子	△
福祉・教育関連系統		
社会福祉	本多 勇	△
相談援助	笹刈 悟	△
児童家庭福祉	田澤 薫	△
保育原理	寺崎 恵子	△
社会的養護	坂本 佳代子	△
乳児保育A	岸澤 藤子	△
乳児保育B	田村 すずか	△
社会的養護内容	笹刈 悟	△
保育相談支援	上野 直子	△
障害児保育A	坂本 佳代子	△
障害児保育B	田村 すずか	△
子どもの保健A	小林 京子	△
子どもの保健B	平田 美佳	△
子どもの保健演習	藤城 富美子	△
家庭支援論	佐藤 千瀬	△
子どもの食と栄養A	広瀬 歩美	△
子どもの食と栄養B	広瀬 歩美	△
地域福祉論	牛津 信忠	△
教育関連科目		
児童文学	松本 祐子／ 小室 陽子	△
社会	川瀬 敏行	△
算数	齋藤 範雄	△
理科	丸山 綱男	△
生活	市村 和子	△
家庭	馬場 由子	△
音楽・器楽E	池上 真理子／笠井 かほ る／阪 まどか／渋谷 み どり／島崎 美知子／塚 原 晴美／矢持 真希子	△

科目名	担当教員	必修／選択
音楽・器楽F	池上 真理子／笠井 かほ る／阪 まどか／ 渋谷 みどり／島崎 美知子／塚原 晴美 ／矢持 真希子	△
音楽・合奏指導E	山田 裕治	△
音楽・ハンドベルB	本田 晃	△
図画工作A	喜田 敬	△
図画工作B	山領 直人	△
体育A	高橋 進／鈴木 明	△
体育B	高橋 進／鈴木 明	△
音楽A	池上 真理子／阪 ま どか／渋谷 みどり／ 塚原 晴美／矢持 真 希子／山田 裕治	△
音楽B	井口 太	△
教師論(小)	小川 隆夫	△
教師論(幼保)	佐藤 千瀬	△
保育実践演習A	広瀬 歩美	△
保育実践演習B	丸山 綱男	△
保育・教職実践演習 (初等)(小)	川瀬 敏行	△
保育・教職実践演習 (初等)(幼)	佐藤 千瀬	△
教育・保育課程論	浅見 均	△
保育内容総論	相川 徳孝	△
保育内容の研究・健康	鈴木 明	△
保育内容の研究・ 人間関係	横井 紘子	△
保育内容の研究・環境	丸山 綱男	△
保育内容の研究・言葉	上野 直子	△
保育内容の研究・表現A	相川 徳孝	△
保育内容の研究・表現B	柴田 和豊	△
幼児指導法の研究	佐藤 千瀬	△
教育課程論	川瀬 敏行	△
初等国語科教育法	市村 和子	△
初等社会科教育法	川瀬 敏行	△
算数科教育法	齋藤 範雄	△
理科教育法	丸山 綱男	△
生活科教育法	市村 和子	△
音楽科教育法	笠井 かほる	△
図画工作科教育法	柴田 和豊	△
家庭科教育法	馬場 由子	△
体育科教育法	鈴木 直樹	△
道德教育の研究	市村 和子	△
特別活動の理論と方法	小池 茂子／ 丸山 綱男	△
教育方法論	市村 和子／ 齋藤 範雄	△
生徒指導論 (進路指導を含む。)	小川 隆夫	△
基礎実習	相川 徳孝	△
幼稚園教育実習	相川 徳孝	△
保育実習	坂本 佳代子／ 田澤 薫／ 広瀬 歩美	△
保育実習指導	坂本 佳代子／ 田澤 薫／ 広瀬 歩美	△
保育実習A	佐藤 千瀬	△
保育実習B	坂本 佳代子	△
保育実習指導A	佐藤 千瀬	△
保育実習指導B	坂本 佳代子	△
小学校教育実習	市村 和子／ 川瀬 敏行／ 齋藤 範雄	△
介護等体験及び 事前事後指導	高山 法子／ 吉田 昌義	△
学校経営と学校図書館	小川 三和子	△
学校図書館メディアの構成	若松 昭子	△
学習指導と学校図書館	米谷 茂則	△

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修／選択
読書と豊かな人間性	小川 三和子	△
情報メディアの活用	長谷川 幸代	△
演習科目		
専門演習(児童学Ⅰ)	田澤 薫	○
専門演習(児童学Ⅱ)	田澤 薫	○
専門演習 (キリスト教幼児教育Ⅰ)	山口 博	○
専門演習 (キリスト教幼児教育Ⅱ)	山口 博	○
専門演習(造形教育論Ⅰ)	喜田 敬	○
専門演習(造形教育論Ⅱ)	喜田 敬	○
専門演習(保育実践論Ⅰ)	相川 徳孝	○
専門演習(保育実践論Ⅱ)	相川 徳孝	○
専門演習 (児童福祉実践論Ⅰ)	坂本 佳代子	○
専門演習 (児童福祉実践論Ⅱ)	坂本 佳代子	○
専門演習 (異文化間教育Ⅰ)	佐藤 千瀬	○
専門演習 (異文化間教育Ⅱ)	佐藤 千瀬	○
専門演習(教育文化論Ⅱ)	寺崎 恵子	○
専門演習(生涯学習Ⅰ)	小池 茂子	○
専門演習(生涯学習Ⅱ)	小池 茂子	○
専門演習(教育心理学Ⅰ)	鎌原 雅彦	○
専門演習(教育心理学Ⅱ)	鎌原 雅彦	○
専門演習(児童文学Ⅰ)	松本 祐子	○
専門演習(児童文学Ⅱ)	松本 祐子	○
専門演習(社会科Ⅰ)	川瀬 敏行	○
専門演習(社会科Ⅱ)	川瀬 敏行	○
卒業研究(児童学Ⅰ)	田澤 薫	○
卒業研究(児童学Ⅱ)	田澤 薫	○
卒業研究 (キリスト教幼児教育Ⅰ)	山口 博	○
卒業研究 (キリスト教幼児教育Ⅱ)	山口 博	○
卒業研究(造形教育論Ⅰ)	喜田 敬	○
卒業研究(造形教育論Ⅱ)	喜田 敬	○
卒業研究(保育実践論Ⅰ)	相川 徳孝	○
卒業研究(保育実践論Ⅱ)	相川 徳孝	○
卒業研究 (児童福祉実践論Ⅰ)	坂本 佳代子	○
卒業研究 (児童福祉実践論Ⅱ)	坂本 佳代子	○
卒業研究 (異文化間教育Ⅰ)	佐藤 千瀬	○
卒業研究 (異文化間教育Ⅱ)	佐藤 千瀬	○
卒業研究(教育文化論Ⅱ)	寺崎 恵子	○
卒業研究(生涯学習Ⅰ)	小池 茂子	○
卒業研究(生涯学習Ⅱ)	小池 茂子	○
卒業研究(教育心理学Ⅰ)	鎌原 雅彦	○
卒業研究(教育心理学Ⅱ)	鎌原 雅彦	○
卒業研究(児童文学Ⅰ)	松本 祐子	○
卒業研究(児童文学Ⅱ)	松本 祐子	○
卒業研究(社会科Ⅰ)	川瀬 敏行	○
卒業研究(社会科Ⅱ)	川瀬 敏行	○
卒業論文		△

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

こども心理学科

基本情報

■開設年度	2012年
■学生数	1年次 43名 2年次 65名 3年次 56名 4年次 59名 (男103名/女120名) 2015年5月1日現在

学科目標

心理学の基礎を学び、人々、特にこどもの心のケア・サポートのできる実践者を育てます。

心理学の学びの中心にはカウンセリング(臨床心理学)があります。そこでは実務経験豊かな教員から実践のための知恵を学ぶことができます。また、スピリチュアルケアをベースに、援助の心構えを学び、人に寄り添う力を養います。

健康学の基礎を学ぶことによって、からだと心の関係を理解し、こどもの発育発達に貢献できる人材を育てます。

こども心理学科では、健康学の学習を重視しています。からだのつくりや働きを学ぶことによって、人の心の理解が深まるからです。からだとは心は密接に関係していることを理解することによって、心のケア・サポートが可能になるからです。

学科の学びやボランティア活動を重視し、広い視野でものを見る力を養い、社会や地域で貢献できる人材を育てます。

心理-健康-環境文化が学科の学習の中心です。広い分野の学習が、人やものを見る力を養います。また、学科ではボランティア学などを開講し、ボランティア活動を重要視しています。様々なボランティア活動を通して、人間の成長をとげるとともに、社会や地域の人々に貢献できる力を育てることができます。

学科概要

こころ、からだ、環境・文化・思想の3つの柱から、こどもについて学びます。こどもから青年期にかけての成長の過程で、さまざまな心身の問題を抱える場合がありますが、そうした問題に対して理解を深め、ケアできる力を養います。

特色ある学び

- キャリアデザイン
- インターンシップ
- アセンブリアワー
- ボランティア活動

将来の活躍分野

- 特別支援学校教員
- 学童保育指導員
- 児童館職員
- 公務員
- 一般企業
- 心理学の専門家
(病院/学校/福祉施設/一般企業での
心理カウンセリング/相談業務)
※臨床心理士など資格取得のためには大学院進学が必要
- 大学院進学

取得可能な資格

- 特別支援学校教諭一種免許状
- 高等学校教諭一種免許状(保健)
- 中学校教諭一種免許状(保健)
- 認定心理士
※日本心理学会が認定する資格
- 図書館司書資格
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、必要科目を修得すると修了証明書取得可
- 児童指導員任用資格
※児童福祉施設(児童養護施設など)で「児童指導員」として勤務する際に必要となる資格
- 児童福祉司任用資格
- 社会福祉主事任用資格
- 社会教育主事任用資格
- こどもパートナー
※教育支援人材認証協会が認証する資格

専任教員一覧

				
特任教授 石津 靖大 教育学(日本教育史)	助教 井上 知洋 障害児心理学、 認知神経心理学	特任講師 大橋 良枝 精神分析的な心理療法、 集団精神療法	教授 金谷 京子 臨床発達心理学、 教育心理学、特別支援教育	学科長 教授 窪寺 俊之 スピリチュアルケア学、 死生学、牧会カウンセリング
				
准教授 齊藤 理砂子 小児保健学、学校保健、 ヘルスプロモーション	准教授 竹淵 香織 臨床心理学、学生相談	特任教授 中村 磐男 衛生学、公衆衛生学、 予防医学、環境保健	教授 原 一子 倫理学、ヨーロッパ文化学	准教授 藤掛 明 臨床心理学、心理テスト、 アートセラピー
				
准教授 村上 純子 家族心理学	教授 山田 麻有美 心理学概論、 児童臨床心理学、 心理療法			
				
教授 吉田 昌義 特別支援教育(知的障害、 発達障害)	副学科長兼学科長代行 教授 和田 雅史 健康教育学、 保健教育学	教授 渡邊 正人 古代文学、考古学		

主な開設科目【専門科目群】

科目名	担当教員	必修／選択
共通基本科目		
キリスト教人間学A	久保島 理恵	◎
キリスト教人間学B	久保島 理恵	◎
キャリアデザインA	専任教員	◎
キャリアデザインB	専任教員	◎
キャリアデザインC	専任教員	◎
スピリチュアルケア入門	伊能 忠嗣／ 窪寺 俊之	◎
心理学概論	山田 麻有美／ 井上 知洋	◎
こども学	金谷 京子	◎
児童心理学	山田 麻有美	◎
発達心理学概論	金谷 京子	◎
グリーフケア入門	関 正勝	◎
倫理学A	原 一子	△
倫理学B	原 一子	△
ボランティア論	助川 征雄／ 渡辺 正人	○
ボランティア実践論	助川 征雄／ 渡辺 正人	○
家族療法入門	村上 純子	○
プレイセラピー入門	村上 純子	○
スピリチュアルケア論B	窪寺 俊之／ 伊能 忠嗣	○
きょうだい支援	村上 純子	○
応用行動分析入門	金谷 京子	○
心理学系		
心理学研究法	高田 毅	◎
心理学実験実習A	井上 知洋／ 堀内 由樹子／ 山田 麻有美	◎
心理学実験実習B	水谷 勉／ 村上 純子／ 山田 麻有美	◎
臨床心理学概論	藤掛 明	◎
健康心理学	村上 純子	◎
障害児(者)心理学	石川 由美子	◎
青年心理学	藤掛 明	○
教育心理学	金谷 京子	○
適応の心理	竹淵 香織	○
産業心理学	高田 毅	○
認知心理学	井上 知洋	○
非行の心理	藤掛 明	○
神経心理学	井上 知洋	○
社会心理学	西村 洋一	○
コミュニケーションの心理学	竹淵 香織	○
教育相談 (カウンセリングを含む。)	山田 麻有美	○
心理療法	山田 麻有美	○
子育て文化の心理学	石川 由美子	○
児童臨床心理学	山田 麻有美	○
教育測定・評価法	高田 毅	○
心理学実験を対象としたコンピュータ実習	渡辺 正人	○
心理検査実習	石川 由美子／ 井上 知洋	○
情報処理演習A	渡辺 正人	○
情報処理演習B	渡辺 正人	○
知的障害児の心理	石川 由美子／ 井上 知洋／ 今中 博章	○
病弱児の心理・生理・ 病理／病弱児の心理	岡澤 慎一／ 竹田 一則	○
情緒障害児の心理	吉井 勘人	○
健康学系		
体のしくみ・働き	小島 龍平／ 吉田 俊爾	◎
チャイルドライフ・ケア	石川 由美子／井上 知洋／金谷 京子／ 齊藤 理砂子／中村 啓男／和田 雅史	◎

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています。
※今年度未開講の科目も一部掲載しております。

科目名	担当教員	必修／選択
ヘルス・プロモーション	齊藤 理砂子	◎
栄養学 (食品学を含む。)	大江 敏江	◎
保健学総論	齊藤 理砂子／ 和田 雅史	◎
小児保健学	齊藤 理砂子	◎
救急処置並びに実習	齊藤 理砂子	◎
環境衛生学	中村 啓男	◎
精神保健学	助川 征雄	◎
健康科学	和田 雅史	◎
免疫学・微生物学	一幡 良利	◎
病と健康の科学	中村 啓男	◎
公衆衛生学 (予防医学を含む。)	中村 啓男	◎
学校保健概論 (安全を含む。)	齊藤 理砂子	△
病児・障害児の看護実習	齊藤 理砂子	△
学校健康相談	齊藤 理砂子	△
知的障害児の 生理・病理	勝二 博亮／ 舟橋 敬一	△
保健科教育法Ⅰ	藤田 和也	△
保健科教育法Ⅱ	藤田 和也	△
保健科教育法Ⅲ	藤田 和也	△
保健科教育法Ⅳ	藤田 和也	△
環境・文化系		
障害児教育総論	岡澤 慎一／金澤 貴 之／川間 健之介／ 永井 伸幸／吉田 昌 義／米田 宏樹	◎
日本文化学	渡辺 正人	○
ヨーロッパ文化学	原 一子	○
見るアート	喜田 敬	△
触れるアート	喜田 敬	△
聞くアート	藤田 明	△
食の文化	島崎 とみ子	△
こどもの危機対応	金谷 京子	△
こども国際協力	田島 伸二	△
教師論	小川 洋	△
教育原理	小川 洋	△
学校と教育の歴史	石津 靖大	△
教育社会学	小川 洋	△
教育課程論	小川 洋	△
道徳教育指導法	細戸 一佳	△
特別活動の理論と方法	富田 初代	△
教育方法論	小川 洋	△
生徒指導論 (進路指導を含む。)	小川 洋	△
福祉学概論	牛津 信忠	△
教育学	石津 靖大	△
聴覚障害児の教育総論	金澤 貴之	△
視覚障害児の教育総論	永井 伸幸	△
知的障害児指導法	吉田 昌義／ 吉井 勘人	△
障害幼児指導法	石川 由美子	△
病弱児指導法	八島 猛	△
重複障害児の教育総論	川間 健之介	△
発達障害児の教育総論	石川 由美子／ 今中 博章	△
応用科目		
インターンシップⅠ	竹淵 香織／ 和田 雅史	△
インターンシップⅡ	竹淵 香織／ 和田 雅史	△
インディペンデント・スタディA		△
インディペンデント・スタディB		△
海外研修		△
演習科目		
専門演習Ⅰ(発達心理学)	金谷 京子	○
専門演習Ⅰ (臨床発達心理学)	石川 由美子	○
専門演習Ⅰ(相談心理学)	竹淵 香織	○

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修／選択
専門演習Ⅰ(家族心理学)	村上 純子	○
専門演習Ⅰ (特別支援教育)	井上 知洋／ 吉田 昌義	○
専門演習Ⅰ(心理療法)	高田 毅	○
専門演習Ⅰ (公衆衛生学・環境教育)	中村 啓男	○
専門演習Ⅰ(子どもの健康)	齊藤 理砂子	○
専門演習Ⅰ(倫理学)	原 一子	○
専門演習Ⅰ(日本文化学)	渡辺 正人	○
専門演習Ⅰ (学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
専門演習Ⅰ(発達心理学)	金谷 京子	○
専門演習Ⅱ (臨床発達心理学)	石川 由美子	○
専門演習Ⅱ(相談心理学)	竹淵 香織	○
専門演習Ⅱ(家族心理学)	村上 純子	○
専門演習Ⅱ (特別支援教育)	井上 知洋／ 吉田 昌義	○
専門演習Ⅱ (公衆衛生学・環境教育)	中村 啓男	○
専門演習Ⅱ(子どもの健康)	齊藤 理砂子	○
専門演習Ⅱ(倫理学)	原 一子	○
専門演習Ⅱ(日本文化学)	渡辺 正人	○
専門演習Ⅱ (学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
卒業研究Ⅰ(発達心理学)	金谷 京子	○
卒業研究Ⅰ (臨床発達心理学)	石川 由美子	○
卒業研究Ⅰ(相談心理学)	竹淵 香織	○
卒業研究Ⅰ(家族心理学)	村上 純子	○
卒業研究Ⅰ (特別支援教育)	井上 知洋／ 吉田 昌義	○
卒業研究Ⅰ (公衆衛生学・環境教育)	中村 啓男	○
卒業研究Ⅰ(子どもの健康)	齊藤 理砂子	○
卒業研究Ⅰ(倫理学)	原 一子	○
卒業研究Ⅰ(日本文化学)	渡辺 正人	○
卒業研究Ⅰ (学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
卒業研究Ⅱ(発達心理学)	金谷 京子	○
卒業研究Ⅱ (臨床発達心理学)	石川 由美子	○
卒業研究Ⅱ(相談心理学)	竹淵 香織	○
卒業研究Ⅱ(家族心理学)	村上 純子	○
卒業研究Ⅱ (特別支援教育)	井上 知洋／ 吉田 昌義	○
卒業研究Ⅱ(非行の心理)		○
卒業研究Ⅱ(適応の心理)	山田 麻有美	○
卒業研究Ⅱ(心理療法)	高田 毅	○
卒業研究Ⅱ (ボランティアとこどものケア)	佐野 正子	○
卒業研究Ⅱ (スピリチュアルケア)		○
卒業研究Ⅱ (グリーフケア)		○
卒業研究Ⅱ (公衆衛生学・環境教育)	中村 啓男	○
卒業研究Ⅱ(子どもの健康)	齊藤 理砂子	○
卒業研究Ⅱ(倫理学)	原 一子	○
卒業研究Ⅱ(日本文化学)	渡辺 正人	○
卒業研究Ⅱ (学校保健学・健康教育学)	和田 雅史	○
卒業演習		△
卒業論文		△
教職実践演習(中等)		△
実習科目		
中学校教育実習		△
高等学校教育実習		△
特別支援教育実習	吉田 昌義	△

人間福祉学科

基本情報

■開設年度	1998年
■学生数	1年次 63名 2年次 82名 3年次 73名 4年次 92名 (男178名/女132名) 2015年5月1日現在

学科目標

- 福祉の心と深い専門知識をもった人材を養成します。
福祉の心を基盤に、ひとを支え、豊かな人間関係を育み、福祉社会の実現に貢献できる人材を育てます。
- 社会を見つめる広い視野と深い人間理解をもとに、
さまざまな職場で活躍できる職業人を養成します。
ひとと社会に関する学びを通して、コミュニケーション能力に優れた職業人を育てます。
- これからの福祉社会で求められる
「現場に強い」実践力のあるスペシャリストを養成します。
少人数教育による質の高い福祉教育を提供し、実践力のある福祉専門職（ソーシャルワーカー）を育てます。

学科概要

人と社会、福祉、心理の3つの柱から人間そのものを学びます。同じ社会の一員として尊重し支え合う「福祉のこころ」を育て、新しい福祉社会のあり方を探っていきます。福祉系資格の取得も積極的にバックアップしています。

特色ある学び

- 現代社会と福祉
- 高齢社会論
- スクールソーシャルワーク論
- カウンセリング論
- 海外福祉研修

将来の活躍分野

- 地方自治体
- 福祉施設・福祉機関
- 病院
- 学校
- 教育機関
(高校教諭・スクールソーシャルワーカーなど)
- 一般企業・福祉関連企業
- 公務員
- NPO・NGO
- 大学院進学

取得可能な資格

- 社会福祉士(国家試験受験資格)
- 精神保健福祉士(国家試験受験資格)
- 高等学校教諭一種(福祉)
- 認定心理士
※日本心理学会が認定する資格
- 社会教育主事任用資格
- 児童指導員任用資格
※児童福祉施設(児童養護施設など)で「児童指導員」として勤務する際に必要となる資格
- 学校図書館司書教諭資格
- 図書館司書資格
- 小学校英語指導者資格
※小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定
- 日本語教師資格
※国家資格ではないが「日本語教員養成課程」で、必要科目を修得すると修了証明書取得可

専任教員一覧



学長補佐 教授
相川 章子
精神保健福祉、
ソーシャルワーク



学部チャレン 教授
阿部 洋治
キリスト教人間学、
キリスト教教育



学部長 教授
牛津 信忠
地域福祉、福祉文化



准教授
木下 大生
障害者福祉、
ソーシャルワーク



学科長 教授
古谷野 巨
社会老年学、調査研究法



准教授
田村 綾子
精神保健福祉、
ソーシャルワーク



教授
中谷 茂一
子ども家庭福祉、
家族社会学



准教授
中原 純
社会心理学、老年心理学



特任教授
野口 祐子
福祉環境論、
ユニバーサルデザイン



准教授
長谷川 恵美子
臨床心理学、医療心理学



助教
長谷部 雅美
高齢者福祉、地域ケア



特任講師
堀 恭子
生涯発達心理学、
臨床心理学

主な開設科目【専門科目群】

科目名	担当教員	必修／選択
専門基礎科目		
人間福祉総論	古谷野 亘	◎
キリスト教人間学A	阿部 洋治	◎
キリスト教人間学B	阿部 洋治	◎
情報社会の基礎理論	加藤 裕康	◎
人間社会科目		
人と社会関連科目		
現代社会と福祉	牛津 信忠	△
死生学	横澤 義夫	△
生命倫理学	川上 祐美	△
社会学	齋藤 圭介	△
法学	松村 芳明	△
人体の構造と機能及び疾病	森 秀美	△
社会調査の基礎	鷹野 吉章	△
家族社会学	齋藤 圭介	△
高齢社会論	古谷野 亘	△
福祉環境論	野口 祐子	△
社会保障論	宮寺 良光	△
保健医療サービス	中村 磐男	△
権利擁護と成年後見制度	長尾 愛女	△
就労支援サービス	野口 勝則	△
ボランティア論	川田 虎男	△
地域社会と生協	大高 研道	△
公衆衛生学	中村 磐男	△
環境政策論	平 修久	△
レクリエーション論	長谷川 辰男	△
リハビリテーション論	長谷川 辰男	△
精神保健学	高畑 隆	△
精神医学	嶋津 良比呂／ 塚本 俊雄	△
スピリチュアルケア入門	伊能 忠嗣／ 窪寺 俊之	△
人間福祉の探求	古谷野 亘	△
人間福祉学特論A		△
人間福祉学特論B		△
心理関連科目		
心理学	堀 恭子	△
発達心理学A	金重 利典	△
発達心理学B	堀 恭子	△
教育心理学	橋本 和幸	△
社会心理学	中原 純	△
家族心理学	水本 深喜	△
福祉心理学	堀 恭子	△
人間関係論	中嶋 励子	△
性格心理学	山本 渉	△
臨床心理学	長谷川 恵美子	△
カウンセリング論	土屋 瑛美	△
心理学研究法	中原 純	△
心理学実験実習A	長谷川 恵美子／ 堀 恭子	△
心理学実験実習B	長谷川 恵美子／ 堀 恭子	△
福祉関連科目		
介護概論	高山 法子	△
介護技術	高山 法子	△
相談援助の基盤と専門職	助川 征雄	△
社会福祉援助技術論A	田村 綾子	△
社会福祉援助技術論B	鷹野 吉章	△
児童福祉論A	中谷 茂一	△
児童福祉論B	中谷 茂一	△
高齢者福祉論A	長谷部 雅美	△
高齢者福祉論B	長谷部 雅美	△
障害者福祉論A	木下 大生	△
障害者福祉論B	木下 大生	△
公的扶助論	藤田 孝典	△
地域福祉論	牛津 信忠	△
医療福祉論	山本 博之	△
精神保健福祉に関する制度とサービス	相川 章子	△
精神障害者の生活支援システム	田村 綾子	△

科目名	担当教員	必修／選択
精神保健福祉援助技術総論	助川 征雄	△
精神保健福祉援助技術各論	児玉 照彰	△
精神科リハビリテーション学A	助川 征雄	△
精神科リハビリテーション学B	田村 綾子	△
社会福祉運営管理論	三田寺 裕治	△
福祉行政財政と福祉計画	馬場 康徳	△
更生保護制度	三澤 孝夫	△
スクールソーシャルワーク論	天野 敬子	△
国家資格演習・実習科目		
社会福祉士		
社会福祉援助技術演習A	野口 祐子／ 長谷部 雅美	△
社会福祉援助技術演習B	野口 祐子／ 長谷部 雅美	△
社会福祉援助技術演習C	長谷部 雅美／ 藤田 孝典	△
社会福祉援助技術演習D	長谷部 雅美	△
社会福祉援助技術演習E	長谷部 雅美	△
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	木下 大生／ 長谷部 雅美	△
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	木下 大生／ 長谷部 雅美	△
社会福祉援助技術現場実習	木下 大生／ 長谷部 雅美	△
精神保健福祉士		
精神保健福祉援助演習(基礎)	相川 章子	△
精神保健福祉援助演習(専門)A	相川 章子	△
精神保健福祉援助演習(専門)B	田村 綾子	△
精神保健福祉援助実習指導A	田村 綾子	△
精神保健福祉援助実習指導B	田村 綾子	△
精神保健福祉援助実習指導C	田村 綾子	△
精神保健福祉援助実習	相川 章子／ 助川 征雄／ 田村 綾子	△
教職実習科目		
社会福祉援助実習	森島 健	△
介護実習	高山 法子	△
演習科目		
専門演習(人間教育論)Ⅰ	阿部 洋治	○
専門演習(人間教育論)Ⅱ	阿部 洋治	○
専門演習(高齢社会論)Ⅰ	古谷野 亘	○
専門演習(高齢社会論)Ⅱ	古谷野 亘	○
専門演習(高齢者福祉論)Ⅰ	長谷部 雅美	○
専門演習(高齢者福祉論)Ⅱ		○
専門演習(障害者福祉論)Ⅰ	木下 大生	○
専門演習(障害者福祉論)Ⅱ	木下 大生	○
専門演習(子ども家庭論)Ⅰ	中谷 茂一	○
専門演習(子ども家庭論)Ⅱ	中谷 茂一	○
専門演習(地域福祉論)Ⅰ	牛津 信忠	○
専門演習(福祉環境論)Ⅰ	野口 祐子	○

必修科目:◎ 選択必修科目:○ 選択科目:△

科目名	担当教員	必修／選択
専門演習(福祉環境論)Ⅱ	野口 祐子	○
専門演習(生活支援論)Ⅰ	田村 綾子	○
専門演習(生活支援論)Ⅱ	田村 綾子	○
専門演習(精神保健福祉論)Ⅰ	相川 章子	○
専門演習(精神保健福祉論)Ⅱ	相川 章子	○
専門演習(社会心理学)Ⅰ	中原 純	○
専門演習(社会心理学)Ⅱ		○
専門演習(カウンセリング論)Ⅰ	長谷川 恵美子	○
専門演習(カウンセリング論)Ⅱ	長谷川 恵美子	○
専門演習(地域援助心理学)Ⅰ	堀 恭子	○
専門演習(地域援助心理学)Ⅱ	堀 恭子	○
卒業研究(人間教育論)Ⅰ	阿部 洋治	○
卒業研究(高齢社会論)Ⅰ	古谷野 亘	○
卒業研究(高齢社会論)Ⅱ	古谷野 亘	○
卒業研究(高齢者福祉論)Ⅰ		○
卒業研究(高齢者福祉論)Ⅱ		○
卒業研究(障害者福祉論)Ⅰ	木下 大生	○
卒業研究(障害者福祉論)Ⅱ	木下 大生	○
卒業研究(子ども家庭論)Ⅰ	中谷 茂一	○
卒業研究(子ども家庭論)Ⅱ	中谷 茂一	○
卒業研究(地域福祉論)Ⅰ	牛津 信忠	○
卒業研究(地域福祉論)Ⅱ	牛津 信忠	○
卒業研究(福祉環境論)Ⅰ	野口 祐子	○
卒業研究(福祉環境論)Ⅱ	野口 祐子	○
卒業研究(ソーシャルワーク論)Ⅱ	助川 征雄	○
卒業研究(生活支援論)Ⅰ	田村 綾子	○
卒業研究(生活支援論)Ⅱ	田村 綾子	○
卒業研究(精神保健福祉論)Ⅰ	相川 章子	○
卒業研究(精神保健福祉論)Ⅱ	相川 章子	○
卒業研究(社会心理学)Ⅰ		○
卒業研究(社会心理学)Ⅱ		○
卒業研究(カウンセリング論)Ⅰ	長谷川 恵美子	○
卒業研究(カウンセリング論)Ⅱ	長谷川 恵美子	○
卒業研究(地域援助心理学)Ⅰ	堀 恭子	○
卒業研究(地域援助心理学)Ⅱ	堀 恭子	○
卒業論文		△

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。

資格関連科目

中学・高等学校教諭教職課程、図書館情報学課程の履修をする際に必要な科目群です。

開設科目

科目名	担当教員	政治経済学部、 人文学部、 人間福祉学科	こども心理学科
教職の意義等に関する科目			
教師論	小川 洋	◇	◇
教育の基礎理論に関する科目			
教育原理	小川 洋	◇	◇
教育心理学	橋本 和幸	◇	◇
教育経営	村上 純一	△	◇
教育社会学	小川 洋	△	◇
学校と教育の歴史	石津 靖大	△	◇
教育課程及び指導法に関する科目			
教育課程論	小川 洋	◇	◇
教育方法論	小川 洋	◇	◇
道徳教育指導法	細戸 一佳		◇
道徳教育の研究	秋池 功	◇	◇
特別活動の理論と方法	石井 昇	◇	◇
社会科地理・歴史的分野教育法	石井 昇	◇	
社会科公民的分野教育法	石井 昇	◇	
社会科授業研究Ⅰ	石井 昇	◇	
社会科授業研究Ⅱ	石井 昇	◇	
公民科教育法	小川 洋	◇	
地理歴史科教育法	小川 洋	◇	
英語科教育法Ⅰ	阿字 宏康	◇	
英語科教育法Ⅱ	阿字 宏康	◇	
英語科教育法Ⅲ	小川 隆夫	◇	
英語科教育法Ⅳ	小川 隆夫	◇	
国語科教育法Ⅰ	熊谷 芳郎	◇	
国語科教育法Ⅱ	熊谷 芳郎	◇	
国語科教育法Ⅲ	熊谷 芳郎	◇	
国語科教育法Ⅳ	熊谷 芳郎	◇	
福祉科教育法Ⅰ	中谷 茂一	◇	
福祉科教育法Ⅱ	中谷 茂一	◇	
保健科教育法Ⅰ	藤田 和也		◇
保健科教育法Ⅱ	藤田 和也		◇
保健科教育法Ⅲ	藤田 和也		◇
保健科教育法Ⅳ	藤田 和也		◇
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目			
生徒指導論(進路指導を含む。)	小川 洋	◇	◇
教育相談(カウンセリングを含む。)	山田 麻有美	◇	◇
教育実習			
高等学校教育実習	小川 洋／熊谷 芳郎／ 中谷 茂一／東 仁美	◇	◇
中学校教育実習	小川 洋／熊谷 芳郎／東 仁美	◇	◇

必修科目:◇ 選択科目:△

科目名	担当教員	政治経済学部、 人文学部、 人間福祉学科	こども心理学科
教職実践演習			
教職実践演習(中等)	小川 洋／熊谷 芳郎／ 中谷 茂一／東 仁美	◇	◇
教科又は教職に関する科目			
介護等体験及び 事前事後指導	高山 法子／吉田 昌義	◇	◇
道徳教育の研究	秋池 功	◇	◇
特別活動の理論と方法	石井 昇	◇	◇
司書に関する科目			
生涯学習概論	小池 茂子	◇	
図書館情報学概論	若松 昭子	◇	
図書館制度・経営論	河島 茂生	◇	
図書館情報技術論	河島 茂生	◇	
図書館サービス概論	岡谷 大	◇	
情報サービス論	吉田 隆	◇	
児童サービス論	黒沢 克朗	◇	
情報サービス演習A	吉田 隆	◇	
情報サービス演習B	坂内 悟	◇	
図書館情報資源概論	岡谷 大	◇	
情報資源組織論(目録)	榎本 裕希子	◇	
情報資源組織論(分類)	長谷川 幸代	◇	
情報資源組織演習(目録)	榎本 裕希子	◇	
情報資源組織演習(分類)	長谷川 幸代	◇	
図書館基礎特論	黒沢 克朗	△	
図書館サービス特論	吉田 隆	△	
図書館情報資源特論	岡谷 大	△	
情報メディア史	若松 昭子	△	
図書館情報学演習	若松 昭子	△	
図書館実習	若松 昭子	△	
学校図書館司書教諭に関する科目			
学校経営と学校図書館	小川 三和子	◇	
学校図書館メディアの構成	若松 昭子	◇	
学習指導と学校図書館	米谷 茂則	◇	
読書と豊かな人間性	小川 三和子	◇	
情報メディアの活用	長谷川 幸代	◇	

※科目名、担当教員等の情報は、2015年度生用対象の資料を元に編集しています(休講等は記載しておりません)。
※資格取得のためには上記以外の科目の履修も必要です。また上記以外の資格の取得も可能です。詳細は、オープンキャンパス等で尋ね下さい。

司書講習 実施概要(2014年度)

講習期間

司書講習
7月22日～9月18日

受講人数

	司書
全受講	65
部分受講	8
合計	73

受講生内訳(職業別)

司書	
図書館勤務	17
その他社会人	45
学生(他大学)*	11

※本学学生は、司書課程内での資格取得を原則とするため司書講習は受講できません。

教育職員免許状・資格取得者数一覧(2010～2014年度)

種 別	教 科	2010	2011	2012	2013	2014
高等学校 教諭一種	公民	0	4	2	4	4
	地理歴史	2	4	2	4	3(1)
	情報	0	0	1	0	0
	英語	9	7	1	3(1)	8
	国語	5	8	7	6	11
	福祉	2	1	0	4	2
中学校 教諭一種	社会	1	5	3	6	7(1)
	英語	9	7	1	3(1)	8
	国語	4	6	7	5	8
小学校教諭一種		44(1)	35	24	37	23
幼稚園教諭一種		78	82(2)	85	79(1)	79(2)
保育士		59	60	70	57(2)	57(2)
図書館情報学	司書	39	52	50(1)	50	30
	司書教諭	27	32	15	15	5
社会教育主事		10	10	0	3	2
日本語教員 ^(※1)		1(1)	6(1)	10	6	5(1)
社会福祉士国家試験受験資格		34	24	27	24	12
精神保健福祉士国家試験受験資格		7	13	6	5	11
認定心理士		9	18	8	7	12

※ () 内の数字は9月卒業者の教育職員免許状・資格取得者数
※1 法的資格ではないが「日本語教員養成課程」で必要科目を修得することで終了証明書が取得可。

社会福祉士 国家試験受験結果(2010～2014年度)

	() は新卒				
年度	2010	2011	2012	2013	2014
試験実施年	2011	2012	2013	2014	2015
回数	23回	24回	25回	26回	27回
受験者	53(34)	42(24)	49(27)	47(24)	39(12)
合格者	22(19)	10(7)	5(4)	12(8)	2(1)

参考：第27回(2014年度：2015年1月実施)社会福祉士合格率(全国) 27.0%

精神保健福祉士 国家試験受験結果(2010～2014年度)

	() は新卒				
年度	2010	2011	2012	2013	2014
試験実施年	2011	2012	2013	2014	2015
回数	13回	14回	15回	16回	17回
受験者	14(7)	19(12)	12(6)	7(5)	13(11)
合格者	4(3)	9(6)	8(6)	3(3)	5(5)

参考：第17回(2014年度：2015年1月実施)精神保健福祉士合格率(全国) 61.3%

教員を目指す学生による学習活動支援

聖学院大学では、市教育委員会との協定により、聖学院大学生を市の公立小学校に派遣しています。
実際の教育の充実にかかわるとともに、教員を目指す学生自身の励みともなっています。

●さいたま市(2010年5月提携)

年度	2014		2013		2012	
	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール	アシスタント ティーチャー	チャレンジ スクール
参加学校数	1	2	4	2	5	1
参加学生数	2	6	4	2	6	6

●アスポート(生活保護受給者への学習サポート)

年度	2013	2012
参加学生数	0	2

埼玉県では、生活保護受給者に対する「教育・就労・住宅」の総合的な自立支援として『アスポート』という「生活保護受給者チャレンジ支援事業」を行っています。
そのアスポートの活動として教育支援事業を実施しており、本学の学生も学生ボランティアとして参加しています。

●上尾市

年度	2013	2012	2011	2010	2009
参加学校数	0	0	0	0	2
参加学生数	0	0	0	0	2

※学生数はのべ人数

●キッズ・ユニバーシティ・さいたま

年度	2014	2013	2012
参加児童	28	71	56
保護者	20	約60	80
ボランティア学生	10	10	10

さいたま市教育委員会と連携して、子どもの知的好奇心を刺激し、学問への憧れを抱く学びの機会を提供。
P.80もご参照ください。

専任教職員数 (2015年5月1日現在)

大学									
学科	政治経済	コミュニ ティ政策	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉	基礎総合 教育部	
教授	15	3	7	8	6	9	6	0	
准教授	3	3	2	5	3	4	4	1	
講師	2	1	1	0	5	2	1	9	
助教	1	0	1	0	1	1	1	0	
助手	0	0	0	0	0	0	0	1	総計
合計	21	7	11	13	15	16	12	11	106

※大学院教員含む

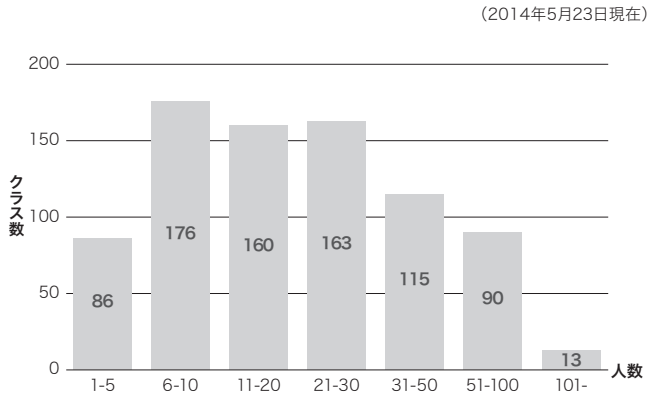
事務職員	
職員	93
合計	93

総合研究所	
教授	0
准教授	0
講師	3
助教	0
研究員	0
合計	3

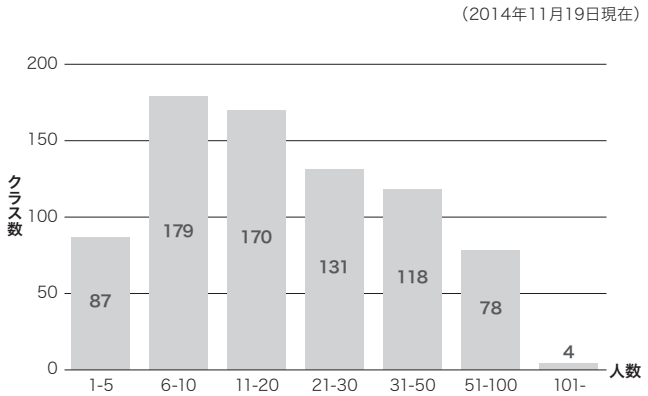
授業・履修状況

クラス規模状況

2014年度 春学期

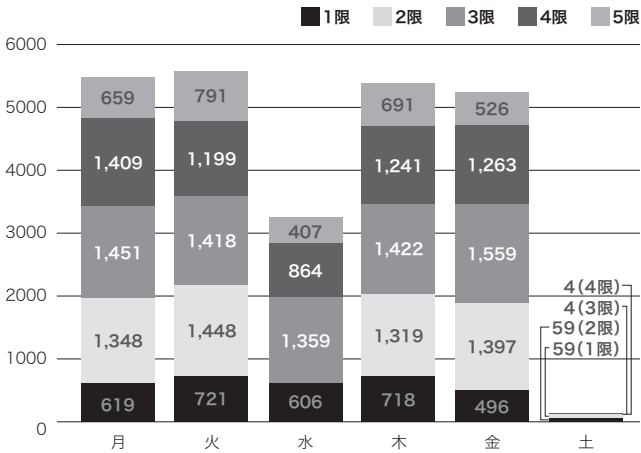


2014年度 秋学期

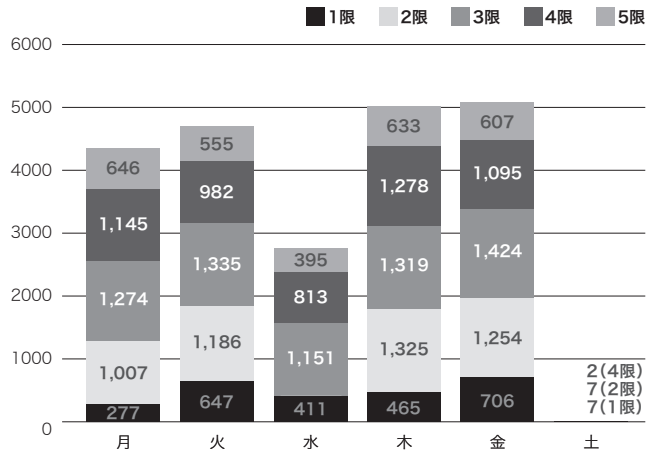


曜日・時限別履修者数

2014年度 春学期



2014年度 秋学期



学部科目等履修生実績(2012～2014年度)

	2014	2013	2012
履修科目数	43	54	48
内聴講生	50	42	29
人数	23	20	17
内聴講生	15	14	8

リカレント教育講座(2012～2014年度)

	2014		2013		2012	
	春	秋	春	秋	春	秋
受講者数	35	41	42	33	55	49
講座数	9	6	5	10	9	13

聖学院大学では埼玉県と協定し、2007年度より団塊世代・高齢者を対象とした開放授業講座(リカレント教育講座)を開講しています。

アセンブリアワー

主なプログラム内容(2014年度)

開催時期	主なプログラム内容
4月	・学長講話 ・ノートテイキング(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・海外研修・海外企業インターンシップ報告・説明会(欧米文化学科) ・図書館ガイダンス(児童学科1年) ・学生会 学生総会
5月	・新入生のみなさんへ 講演会(政治経済学科・コミュニティ政策学科1年) ・学生個別面談(欧米文化学科) ・講演会(日本文化学科1年) ・キリスト教保育の実践①(児童学科3年) ・新入生のみなさんへ 講演会(こども心理学科・人間福祉学科1年) ・講演会(欧米文化学科1年) ・講演会(児童学科1年) ・大学生基礎力調査フォローガイダンス(1年) ・キリスト教保育の実践②(児童学科4年) ・キリスト教 講演会(2・3・4年) ・キリスト教 音楽会(1年) ・児童相談所の機能と児童虐待防止(児童学科3年)
6月	・TOEIC-IP(欧米文化学科) ・日文の日 ヒダノ修一氏 和太鼓の実演(日本文化学科) ・2015年度 幼稚園教育実習及び 保育実習A/B 説明会(児童学科) ・菅原哲男氏講演会「児童養護施設の働き」(こども心理学科) ・社会福祉士・精神保健福祉士って?(人間福祉学科) ・日本文化学会総会(日本文化学科) ・国際交流会(留学生と日本の学生) ・日本文化学会学生会企画(日本文化学科) ・専門演習・保育実習説明会(児童学科2年) ・福祉士資格取得希望者ガイダンス(人間福祉学科) ・学び始めたみなさんへ 講演会(政治経済学科・コミュニティ政策学科1年) ・専門演習説明会(欧米文化学科) ・学び始めたみなさんへ 講演会(日本文化学科・児童学科1年) ・専門演習(ゼミ)説明会(こども心理学科2年) ・専門演習ガイダンス(人間福祉学科2年) ・講演会(欧米文化学科1年) ・講演会(こども心理学科1年) ・講演会(人間福祉学科1年)
7月	・公務員講座模試(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・TOEFL-ITP(欧米文化学科) ・講演会がん患者の心のケア(児童学科・こども心理学科・人間福祉学科) ・ゼミ登録説明会(政治経済学科・コミュニティ政策学科2・3年) ・English for Fun(欧米文化学科) ・教務指導(日本文化学科1年) ・教育実習事前指導ガイダンス(児童学科) ・東宏行氏 講演会「ソーシャルネットワークに向かい合う～SNSといじめが交差する関係～(こども心理学科) ・福祉士資格取得希望者ガイダンス(人間福祉学科) ・上尾市の自転車のまちづくりに関する講演会(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・西垣 通氏 講演会(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・卒業生を招いて-キャリアガイダンス-(人間福祉学科) ・OB 講演会(欧米文化学科)
9月	・大宮アルディージャ鈴木社長 講演会(政治経済学科・コミュニティ政策学科)
10月	・上尾税務署長講演会(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・学生研究・研修報告会(欧米文化学科) ・児童学海外研修説明会(児童学科) ・埼玉県警出張講義(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・ハロウィン(欧米文化学科) ・特別研究期間報告会(日本文化学科) ・特別研究期間報告会(児童学科) ・遠藤美穂氏 講演会「産業カウンセラーの仕事」(こども心理学科) ・創立記念講演会①(政治経済学科・人文学部) ・インターンシップ海外研修報告会(こども心理学科) ・創立記念講演会②(人間福祉学科)
11月	・インターンシップ報告会 ・専門演習ゼミ説明会(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・TOEIC-IP(欧米文化学科) ・国語科教育実習報告会(日本文化学科) ・鍛代敏雄先生 講演会「中世日本の子どもたち」(児童学科) ・作って遊ぶ外部講師による工作教室(こども心理学科) ・福祉士資格取得希望者ガイダンス(人間福祉学科) ・日本語教員実習報告会(日本文化学科) ・就活に関するセミナー(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・卒論中間発表会(欧米文化学科) ・卒論中間報告会(日本文化学科) ・卒論テーマ発表会(児童学科) ・卒業論文中間発表会(人間福祉学科) ・山田寅幸氏 講演会(盆栽とまちづくり)(政治経済学科・日本文化学科) ・クリスマス準備(欧米文化学科) ・卒業研究ゼミわけ説明会(日本文化学科)
12月	・第11回留学生日本語弁論大会 ・英語スピーチコンテスト ・3年限定 就職内定者座談会(人間福祉学科) ・クリスマス礼拝 ・卒論中間報告会(政治経済学科・コミュニティ政策学科)
1月	・卒業研究ゼミ登録説明会(政治経済学科・コミュニティ政策学科2年) ・TOEFL-ITP(欧米文化学科) ・専門演習ゼミわけ説明会(日本文化学科) ・保育教材発表会(児童学科) ・荒井氏 講演会「スクールカウンセラーの仕事」(こども心理学科) ・瀬名先生最終講義(政治経済学科・コミュニティ政策学科) ・葛城崇講演会「「英語」が教えてくれたこと」(欧米文化学科) ・黒木章先生最終講義(日本文化学科) ・実習報告会(児童学科) ・英語 Post Test(人文学部・人間福祉学部1年) ・助川先生最終講義(人間福祉学科)

※その他、学生相談日(全学科)、ゼミ紹介(政治経済学科)、アドバイザークラスミーティング(こども心理学科)などが開催されています。

在学中の学修時間

2014年度在学生アンケート・卒業生アンケートより

●在学生 大学生生活アンケート

実施方法: 2014年9月、回答者が重ならないように、授業やゼミで主に1-3年に配布、実施。

回答者数: 1,247

回収率: 75%

●卒業生 大学生生活アンケート

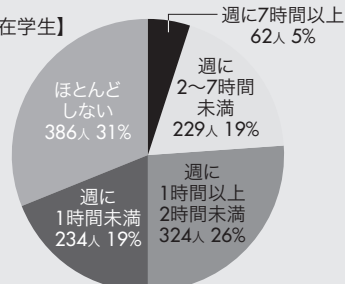
実施方法: 2015年3月卒業式にて卒業生に実施。

回答者数: 404

回収率: 86%

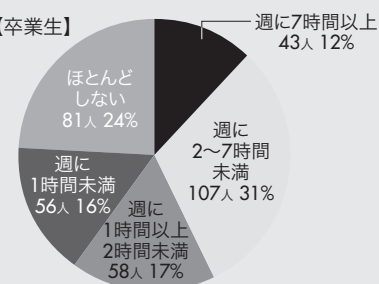
※有効回答数より表を作成。

【在学生】



質問: あなたは授業に関する勉強をどのぐらいしていますか。

【卒業生】



質問: 最終学年では授業に関する勉強を1週間平均してどの程度行いましたか。

大学院

教員と主な担当科目



政治政策学研究科長
平 修久



アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科長
清水 正之



人間福祉学研究科長
牛津 信忠

肩書	教員名	主な担当科目
政治政策学研究科		
教授・研究科長	平 修久	政治・政策学研究／まちづくり論研究／まちづくり論演習Ⅰ／まちづくり論演習Ⅱ
教授	阿久戸 光晴	政治・政策学研究／デモクラシー・人権政策研究
教授	石川裕一郎	憲法研究
教授	大高 研道	政治・政策学研究／社会的企業論／社会的企業論演習Ⅰ
教授(※)	大森 達也	経済学研究B
教授	菊地 順	デモクラシー・人権政策研究
教授	柴田 武男	政治・政策学研究／経済学研究A／経済学演習Ⅰ／経済学演習Ⅱ
教授	高橋 愛子	政治・政策学研究
教授	村上 公久	地球環境論研究
准教授	鄭 鎬碩	多文化コミュニケーション論
准教授	森分 大輔	デモクラシー・人権政策研究
特任教授	吉川 保弘	政治・政策学研究／租税法研究A／租税法A演習Ⅰ／租税法A演習Ⅱ
特任講師	木村 裕二	政治・政策学研究／民事法と実務A／民事法と実務B
客員教授	岸田 貞夫	租税法研究C／租税法C演習Ⅱ
客員教授	標 宣男	リスク科学論研究
客員教授	松原 望	経営意思決定研究
客員教授	山本 智馨	租税法研究B／租税法B演習Ⅱ
非常勤講師	大塚 健司	埼玉地域政策研究
非常勤講師	久保 隆光	社会政策論研究
非常勤講師	児玉 博昭	公共政策研究
非常勤講師	佐藤 一子	地域文化論
非常勤講師	宮崎 雅人	地方財政論研究

肩書	教員名	主な担当科目
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科		
教授・研究科長	清水 正之	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論／日本文化学研究A／日本文化学A演習Ⅰ／日本文化学特殊研究
教授(※)	阿久戸 光晴	キリスト教文化学研究C
教授	氏家 理恵	原書講読B・英語
教授(※)	牛津 信忠	総合文化学特殊研究
教授	菊地 順	キリスト教文化学研究C
教授(※)	窪寺 俊之	総合文化学特殊研究
教授	原 一子	原書講読A・独語
教授	東島 誠	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論／日本文化学研究C／日本文化学C演習Ⅰ
教授	村松 晋	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論／日本文化学研究B／日本文化学B演習Ⅰ
教授	和田 光司	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論／ヨーロッパ文化学研究B
准教授(※)	藤掛 明	総合文化学特殊研究
特命教授	大木 英夫	キリスト教文化学特殊研究
客員教授	稲田 敦子	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論／ヨーロッパ文化学研究B／ヨーロッパ文化学B演習Ⅰ／ヨーロッパ文化学特殊研究
客員教授	大木 雅夫	総合文化学特殊研究
客員教授	片柳 榮一	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論／ヨーロッパ文化学研究A／原書講読B・独語／原書講読A・ラテン語／原書講読B・ラテン語／ヨーロッパ文化学A演習Ⅰ／ヨーロッパ文化学A演習Ⅱ／ヨーロッパ文化学特殊研究
客員教授(※)	岸田 貞夫	総合文化学特殊研究
客員教授	郡司 篤晃	総合文化学特殊研究
客員教授(※)	助川 征雄	総合文化学特殊研究
客員教授	高橋 義文	アメリカ・ヨーロッパ文化学総論／アメリカ文化学研究B／アメリカ文化学研究B演習Ⅰ／アメリカ文化学研究B演習Ⅱ／ヨーロッパ文化学特殊研究
客員教授	田中 浩	日本文化学特殊研究

肩書	教員名	主な担当科目
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科		
客員教授(※)	松原 望	総合文化学特殊研究
客員教授	森田 美千代	アメリカ文化学研究C／アメリカ文化学C演習Ⅰ／アメリカ文化学特殊研究／研究方法特論Ⅰ／研究方法特論Ⅱ
非常勤講師	鹿瀬 颯枝	原書講読A・仏語
非常勤講師	左近 豊	原書講読A・ギリシャ語／原書講読B・ギリシャ語
非常勤講師	藤原 淳賀	キリスト教文化学研究B／原書講読A・英語

肩書	教員名	主な担当科目
人間福祉学研究科		
教授・研究科長	牛津 信忠	社会福祉学研究／社会福祉学研究演習Ⅰ／社会福祉学研究演習Ⅱ
教授	相川 章子	精神保健福祉特論／精神保健福祉研究演習Ⅰ／精神保健福祉研究演習Ⅱ
教授	阿部 洋治	キリスト教人間学研究
教授	窪寺 俊之	スピリチュアルケア研究／スピリチュアルケア特論／スピリチュアルケア研究演習Ⅰ／スピリチュアルケア演習Ⅱ
教授	古谷野 亘	高齢者保健福祉特論／研究法入門／調査研究法Ⅰ(量的研究)／高齢者保健福祉研究演習Ⅰ／高齢者保健福祉研究演習Ⅱ
教授	田澤 薫	児童学研究／児童学研究演習Ⅰ／児童学研究演習Ⅱ
教授	中谷 茂一	児童福祉特論／児童福祉研究演習Ⅰ／児童福祉研究演習Ⅱ
教授	中村 磐男	環境保健学特論
教授	松本 祐子	児童文学特論
教授	村山 順吉	児童音楽表現法特論
教授	山田 麻有美	学校教育相談特論
准教授	木下 大生	障害者福祉特論／障害者福祉研究演習Ⅰ／障害者福祉研究演習Ⅱ
准教授	佐藤 千瀬	異文化間教育研究演習Ⅰ／異文化間教育研究演習Ⅱ
准教授	寺崎 恵子	児童文化特論
准教授	長谷川 恵美子	臨床心理学特論
准教授	藤掛 明	キリスト教とカウンセリングⅠ／キリスト教カウンセリング事例研究／キリスト教カウンセリング研究演習Ⅰ／キリスト教カウンセリング研究演習Ⅱ
特任教授	野口 祐子	福祉工学特論
客員教授	助川 征雄	ソーシャルワーク研究／ソーシャルワーク研究演習Ⅰ／ソーシャルワーク研究演習Ⅱ
非常勤講師	石川 由美子	発達心理学研究／発達心理学研究演習Ⅰ／発達心理学研究演習Ⅱ
非常勤講師	伊藤 高章	臨床死生学研究／グリーフケア特論
非常勤講師	入江 礼子	保育・教育実践研究法
非常勤講師	小倉 啓子	調査研究法Ⅱ(質的研究)
非常勤講師	堀 肇	キリスト教とカウンセリングⅡ

【(※)は他の研究科が主担当】

大学院在学学生数

2015年5月1日現在

研究科名	政治政策学研究科 (修士)			アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科 (博士前期)			人間福祉学研究科(修士)			アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科 (博士後期)			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年(修士・博士)	10	13	1	5	3	1	10	5	3	5	1	0	22
2年(修士・博士)	10	12	2	5	2	1	10	12	7	5	2	0	28
3年(博士)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	16	7	16
合計	20	25	3	10	5	2	20	17	10	15	19	7	66

社会人学生年代別在籍状況（大学卒業後3年以上、大学等卒業後1年以上の社会人経験を有する者）

年代	全在籍数	内社会人数	20代	30代	40代	50代	60代	70代
政治政策学研究科	25	18	16%	50%	11%	22%	—	—
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科(前期・後期)	25	21	—	23%	19%	14%	33%	9%
人間福祉学研究科	17	13	7%	38%	23%	30%	—	—

(2015年5月現在)

大学院専任教員数

教授	28
准教授	6
講師	0
合計	34

修了状況

研究科名	政治政策学 (修士)	アメリカ・ヨーロッパ文化学 (博士前期)	人間福祉学 (修士)	アメリカ・ヨーロッパ文化学 (博士後期)	総計
2014年度	15	2	5	2	24
2013年度	12	3	5	2	22
2012年度	18	4	3	2	27

RA／TAについて

大学院生の経済的サポートと研究遂行能力を向上させるため、聖学院大学大学院ではリサーチ・アシスタント(RA)制度およびティーチング・アシスタント(TA)制度を導入し援助を行っています。

RAは、総合研究所、大学院が主催する研究会やシンポジウム、共同研究を遂行する補助業務を行います。応募対象者は博士後期課程の大学院生です。

TAは、学部で授業科目にかかわる教育上の補助業務を行います。応募対象者は修士課程／博士前期課程の大学院生です。

	RA	TA
2014年度	6	8
2013年度	6	13
2012年度	9	8

大学院科目等履修者数

	研究科科目	春学期	秋学期	合計
2014年度	政策研系	0(0)	0(0)	0(0)
	文化研系	4(3)	2(2)	6(5)
	福祉研系	13(5)	13(11)	26(16)
	計	17(8)	15(13)	32(21)
2013年度	政策研系	0(0)	1(1)	1(1)
	文化研系	7(4)	3(3)	10(7)
	福祉研系	14(8)	8(5)	22(13)
	計	21(12)	12(9)	33(21)
2012年度	政策研系	1(0)	1(1)	2(1)
	文化研系	5(5)	3(2)	8(7)
	福祉研系	13(5)	12(7)	25(12)
	計	19(10)	16(10)	35(20)

()内の数字は聴講者数(内数)

大学院修了後の主な進学先・勤務先

さいたま市役所／
本庄市市議会議員／
埼玉県／
小山市役所／
聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程／
合同酒精(株)／
名古屋経済大学大学院博士後期課程／
聖学院／
日本ナルドタン(株)／
関東自動車協議会／
ヤマハ(株)／
巢鴨市役所／
財務省東京税関／
上尾市役所／
福岡県立大学／
大阪キリスト教短大／
静岡県立大学大学院博士後期課程／
九州大学大学院博士後期課程／
トリニティ・ウェスタン大学連合
カナダ神学校修士課程／
千葉商科大学大学院博士後期課程／
東武鉄道(株)／
埼玉県社会福祉事業団／
保護観察官／
東亜学園高校／
我孫子市市議会議員／
(株)ダイヤ高齢社会研究財団／
(株)日本M&Aセンター／
全国農業協同組合／
(株)日本看護協会看護教育センター／
石川県／
厚生労働省／
静岡県立大学／
文京大学付属中学校・高等学校／
帝京大学／
東京YMCA社会体育・保育専門学校／
埼玉県議会議員／
島根大学医学部／
電通／
日本私立学校振興・共済事業団／
みずほ銀行／
社会福祉協議会／
戸田翔陽高校／
(株)村山鋼材／
経済産業省／
教育委員会／
(株)ベアレンツ／
深谷メンタルクリニック／
(株)ローソン／
東日本銀行／
清水建設(株)／
聖学院大学総合研究所／
浦和税理士法人／
(株)日本政策金融公庫／
TAC(株)／
(株)日本エスシーマネジメント／
(株)グローイング総研／
(株)エムエムジー経営研究所／
ハイトスコオペレーション(株)／
(株)リアル／
(財)高齢者住宅財団／
JTB日本交通公社／
東京西徳州会病院

大学院 外国籍学生在籍数

2015年5月1日現在

研究科名	国籍名	男子	女子	総計
政治政策学	中国	0	1	1
アメリカ・ヨーロッパ文化学	中国	0	2	2
人間福祉学	中国	0	1	1
	韓国	1	1	2
総計		1	5	6

ラーニングセンター

ラーニングセンターは、学生の学習支援をはじめ、学生生活で困ったことやどこに聞いていいかわからない時など、さまざまな場面で利用することができます。

大学での学びは自分自身で目標を設定し、計画を立てて学習する必要があります。高校までの学習とは大きく異なるため、戸惑いや不安があるかもしれません。そんなときは、ラーニングセンターの教職員とともに、自分に合った学習方法を見つけられるよう考えていきます。

担当教員



センター長 特任講師
尾張 宏一



特任助手
木村 美里



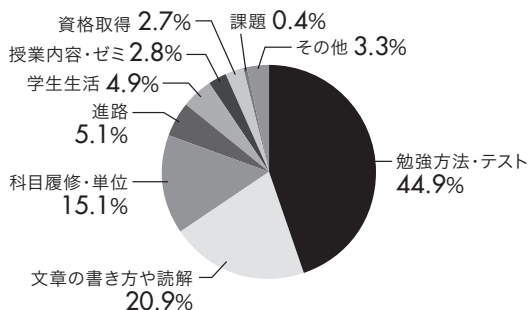
ポストドクター
齊藤 伸

学科との連携

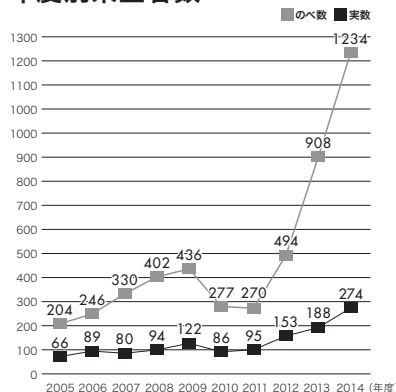
講義についていけない学生を学科の教員と連携し、支援しています。リメディアルの学習が主の機関ですが、学生の成長したいというニーズに併せ、漢検や英検等の学習支援も行っています。

相談内容分布

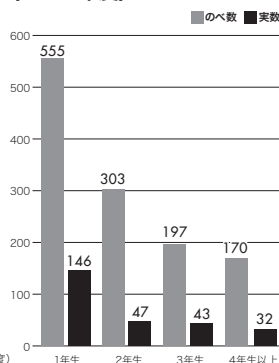
(2014年度)



年度別来室者数



学年別来室者数 (2014年度)



ラーニングコモンズ

自主的学習、グループ学習などを支援する総合的学習スペース

利用者数(2014年4月～2015年2月)	(人)
授業外利用	2,933
授業利用	211
計	3,144

留学

主な短期海外研修の参加状況 (2011～2014年度)

年度		国	大学／都市	政	コ	欧	日	児	こ	福	計	
2014 年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	0	0	4	0	1	0	2	7	
		韓国	啓明大学校	0	1	1	1	0	0	0	3	
		アメリカ (こども心理学科 海外研修)	SAINTS	—	—	—	—	—	2	—	2	
		ドイツ (欧米文化学科 ドイツ文化研修)	ゲーテ・インスティテュート (ハイベルク)マンハイム校	0	0	1	0	0	0	0	1	
		オーストラリア	ディーキン大学	0	0	6	0	0	0	0	6	
	春	アメリカ (児童学科 海外実習)	SAINTS	—	—	—	—	1	—	—	1	
		アメリカ (欧米文化学科 企業インターンシップ)	ロサンゼルス	0	0	2	0	0	0	0	2	
		アメリカ (欧米文化学科 カレッジ留学)	ハイラインカレッジ	—	—	5	—	—	—	—	5	
		提携校	アメリカ	オグルソープ大学／アトランタ	0	0	2	0	0	0	0	2
						小計	0	1	21	1	2	2
2013 年度	夏	カナダ	ビクトリア大学	0	0	3	0	0	0	0	3	
		韓国	啓明大学校	1	1	0	0	1	0	0	3	
		アメリカ	オグルソープ大学／アトランタ	0	1	0	0	0	0	1	2	
		フランス (欧米文化学科 フランス文化研修)	南フランスモンペリエ ILA	0	0	1	0	0	0	0	1	
		オーストラリア	ディーキン大学	0	0	1	0	0	0	0	1	
	春	オーストラリア	フリンダース大学	—	—	—	—	11	—	—	11	
		アメリカ (児童学科 海外実習)	SAINTS	—	—	—	—	1	—	—	1	
		韓国 (東アジアキリスト教文化研修)	長老会神学大学校	0	0	0	0	3	0	3	6	
		ドイツ (欧米文化学科オーストラリア／ドイツ文化研修)	アクティリンガアカデミー／ ウィーン	0	0	1	0	0	0	0	1	
		アメリカ (欧米文化学科 企業インターンシップ)	ロサンゼルス	0	0	3	0	0	0	0	3	
コミュ カレ	アメリカ (欧米文化学科 コミュニティカレッジ留学)	ハイラインコミュニティ カレッジ	—	—	3	—	—	—	—	3		
提携校	アメリカ	オグルソープ大学／アトランタ	0	0	2	0	0	0	0	2		
				小計	1	2	14	0	16	0	4	37
2012 年度	夏	韓国	啓明大学校	0	2	0	0	0	0	0	2	
		日本 (長野イングリッシュ研修)	ノーススター・アウトドア・ アドベンチャーズ	2	0	6	4	0	0	0	12	
		オーストラリア (政治経済学科 サマー環境スクール)	クイーンズランド大学	1	0	0	2	0	0	0	3	
		フランス (欧米文化学科 フランス文化研修)	リヨン、パリ	0	0	2	0	0	0	0	2	
		アメリカ (欧米文化学科 CALA 教師語学文 化集中研修イン・ハワイツアー)	CALA	0	0	1	0	0	0	0	1	
	春	オーストラリア	ディーキン大学	4	0	2	0	0	0	0	6	
		アメリカ (児童学科 海外実習)	SAINTS	—	—	—	—	1	—	—	1	
		フィンランド、スウェーデン (人間福祉学科 北欧福祉研修)		—	—	—	—	1	—	12	13	
		韓国 (海外文化交流研修 アジア)	啓明大学校	0	0	1	2	2	0	0	5	
		コミュ カレ	アメリカ (欧米文化学科 コミュニティカレッジ留学)	ハイラインコミュニティ カレッジ	—	—	9	—	—	—	—	9
提携校	アメリカ	ラグレンジ大学	0	0	1	0	0	0	0	1		
				小計	7	2	22	8	4	0	12	55
2011 年度	夏	アメリカ	グランドバレー州立大学	2	0	1	0	0	—	1	4	
		韓国	啓明大学校	0	0	0	3	0	—	1	4	
		フランス (欧米文化学科 フランス文化研修)	リヨン	0	0	1	0	0	—	0	1	
		オーストラリア	ディーキン大学	0	0	4	1	0	—	1	6	
		オーストラリア (児童学科 児童学海外研修)	フリンダース大学	0	0	0	0	11	—	0	11	
	春	デンマーク (人間福祉学科 北欧福祉研修)	コペンハーゲン、 オーデンセ他	0	0	0	0	1	—	9	10	
		ドイツ (欧米文化学科 ドイツ文化研修)	フライブルク	0	0	1	0	0	—	0	1	
		韓国 (海外文化交流研修 アジア)	啓明大学校	0	1	0	6	0	—	0	7	
		コミュ カレ	アメリカ (欧米文化学科 コミュニティカレッジ留学)	ハイラインコミュニティ カレッジ	—	—	1	—	—	—	—	1
		提携校	アメリカ	ラグレンジ大学	0	0	1	0	0	0	0	1
				韓国	湖西大学校	0	1	1	0	0	0	2
				小計	2	2	10	10	12	—	12	48

* SAINTS: 聖学院アトランタ国際学校 実施時期は年度によって異なるが11月または1月
コミュカレ(コミュニティカレッジ)、提携校は長期の留学プログラム

提携校留学者数

年度	政	コ	欧	日	児	こ	福
2014年度	0	0	2	0	0	0	0
2013年度	0	0	2	0	0	0	0
2012年度	0	0	1	0	0	0	0
2011年度	0	1	3	0	0	—	0
2010年度	0	0	2	0	0	—	0

留學生日本語弁論大会

年度	回数	開催日	本選出場者
2014	12	12月3日	8名
2013	11	12月4日	7名
2012	10	12月5日	7名
2011	9	12月7日	8名
2010	8	11月24日	8名